

ごあいさつ

埼玉県産業技術総合センター(略称:SAITEC)は、県内産業の研究開発支援や技術支援を中心とした事業を行うことを目的として、川口市内SKIPシティの本所と熊谷市内の北部研究所の2拠点で産業振興施策事業を展開してまいりました。

そして、平成 26 年度は、技術相談件数 21,277 件、依頼試験件数 24,143 件、機器開放件数 4,410 件、機器開放利用時間 56,503 時間となっており、中小企業の皆様を中心として、数多くの御利用をいただきました。

さて、グローバル化した経済の下で日本が成長を続けていくためには、国際競争で勝てる新たな産業を創出する必要があります。そのため、埼玉県では、今後の成長が見込める産業を育成し埼玉に集積させる「先端産業創造プロジェクト」に取り組んでいます。

この取組に呼応するように、当センターでも、平成 26 年度から省エネルギー分野や福祉分野などの次世代産業分野において先進的な取組を行おうとする企業や団体を地域経済を牽引するリーディングカンパニーとして育成するため、試作開発から製品化までを総合的に支援する「次世代型ものづくり製品開発支援事業」を創設いたしました。

このように、足元をしっかり固める従来からの支援と次世代の産業につながる支援とを車の両輪として、これからも企業や地域のニーズを積極的に把握しながら、県内産業の育成に努めてまいります。

本業務報告は、平成 26 年度埼玉県産業技術総合センターの業務実績を取りまとめたものでございます。御参考にしていただければ幸いです。

平成 27 年 7 月

埼玉県産業技術総合センター  
センター長 中村 雅範



# 平成26年度業務報告目次

ごあいさつ.....	i
<b>1 埼玉県産業技術総合センター概要.....</b>	<b>1</b>
1.1 沿革.....	1
1.2 組織と事務分掌.....	2
1.3 職員.....	3
1.4 所在地、土地建物.....	4
1.5 会計.....	5
1.6 貸会議室等.....	6
1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等.....	6
1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数.....	6
1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数.....	6
1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数.....	6
1.7 試験研究設備の整備状況.....	7
<b>2 技術支援.....</b>	<b>8</b>
2.1 技術相談・技術指導.....	8
2.1.1 職員による技術相談・技術指導.....	8
2.1.2 技術アドバイザー指導事業.....	10
2.1.3 現場改善・製品化支援事業.....	11
2.2 依頼試験.....	12
2.2.1 依頼試験.....	12
2.2.2 放射線測定依頼試験.....	13
2.2.3 試験所の登録.....	13
2.3 機器開放.....	14
2.3.1 機器開放.....	14
2.3.2 機器操作技術認定研修.....	15
2.4 技術普及業務.....	15
2.4.1 SAITEC 研究発表会.....	15
2.4.2 SAITEC 北部研究所研究発表会.....	15
2.5 次世代自動車支援事業の運営支援.....	16
2.5.1 部会及び各研究会参加企業数.....	16
2.5.2 研究会等の名称及び担当者一覧表.....	16
2.5.3 各研究会の概要.....	16
2.6 技術講習会、講演会の開催.....	17
2.7 培養酵母の頒布.....	24
<b>3 研究開発.....</b>	<b>25</b>
3.1 研究開発.....	25
3.1.1 政策的研究課題.....	25
3.1.2 受託研究.....	26
3.2 研究開発及び技術支援による実用化・商品化.....	26
3.3 客員研究員.....	26
3.4 研究成果の公表.....	27
3.4.1 センター主催の発表.....	27
3.4.2 学会等への発表(国際会議含む).....	28
3.5 研究課題の評価.....	30
3.5.1 事前評価.....	30
3.5.2 事後評価.....	30
3.5.3 中間評価.....	30

<b>4</b>	<b>研究開発支援</b> .....	<b>31</b>
4.1	産学官連携の推進 .....	31
4.1.1	産学官連携推進について .....	31
4.1.2	産学官連携関連展示会(主催事業) .....	31
4.1.3	産学官連携に関連する展示会 .....	32
4.1.4	SAITEC 内特別チーム .....	32
4.2	助成制度への取り組み .....	33
4.2.1	研究開発型企業支援事業 .....	33
4.2.2	埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績 .....	33
4.2.3	次世代型ものづくり製品開発支援事業 .....	33
4.3	特許の取得推進とその活用 .....	34
4.3.1	産業財産権の一覧 .....	34
4.3.2	実施許諾 .....	36
<b>5</b>	<b>交流</b> .....	<b>37</b>
5.1	異業種交流支援事業 .....	37
5.1.1	産学官交流プラザ .....	37
5.1.2	埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット) .....	37
5.1.3	埼玉食品テクノプラザ .....	38
5.1.4	さきたま利根テクノプラザ(STTEP) .....	38
5.2	新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催).....	39
5.2.1	鋳物技術委員会 .....	39
5.2.2	埼玉県ものづくり研究会 .....	39
5.2.3	埼玉県熱処理技術研究会 .....	39
5.2.4	品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉).....	39
5.2.5	埼玉県米菓研究会 .....	39
5.2.6	清酒製造技術研究会 .....	39
5.2.7	埼玉県ロボットニーズ研究会 .....	40
5.3	首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】 .....	41
5.3.1	首都圏公設試連携推進会議の開催 3回(第46回～第48回).....	41
5.3.2	首都圏公設試連携推進会議(TKFフォーラム)の開催 (第49回).....	41
5.3.3	研究発表者相互派遣事業 .....	41
5.3.4	産業交流展 2014 への参加 .....	41
5.3.5	パートナー・グループ事業 .....	41
5.3.6	その他への発表(他県での研究発表会等).....	42
5.3.7	広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP) .....	42
5.3.8	平成 25 年度経済産業省補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」 (関東地域) .....	42
5.4	RINGS NET (新潟、群馬、埼玉 3 県公設試連携) .....	44
5.4.1	研究発表者相互派遣事業 .....	44
5.4.2	担当分野別交流会等の開催 .....	44
5.5	講演会等講師派遣 .....	45
5.6	審査会等への派遣 .....	47
5.7	技術評価 .....	48
5.8	会議等への参加 .....	49
<b>6</b>	<b>情報提供</b> .....	<b>54</b>
6.1	研究報告 .....	54
6.2	利用促進 .....	54
6.2.1	業務報告 .....	54
6.2.2	インターネットによる技術情報の提供 .....	54
6.2.3	記者発表 .....	54
6.2.4	マスメディア報道 .....	54

<b>7</b>	<b>起業化支援</b> .....	<b>56</b>
7.1	入居企業 .....	56
7.2	支援実績 .....	56
<b>8</b>	<b>人材育成</b> .....	<b>57</b>
8.1	研修生の受け入れ .....	57
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業 .....	57
8.1.2	インターンシップ事業 .....	58
8.1.3	平成 26 年度鑄造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ .....	58
8.2	技術競技会 .....	59
8.2.1	第 50 回埼玉県鑄造技術コンクール .....	59
8.2.2	平成 26 年度(第 57 回)埼玉県めっき技術競技会.....	60
8.2.3	平成 26 酒造年度春季清酒鑑評会 .....	60
8.3	ものづくり開発支援研修 .....	61
8.4	科学技術体験学習の実施 .....	63
8.4.1	スーパーサイエンスハイスクール事業 .....	63
<b>9</b>	<b>その他の事業</b> .....	<b>64</b>
9.1	職員研修 .....	64
9.2	顧客満足度 (CS) アンケート .....	67
9.3	運営委員会の開催 .....	67
9.3.1	開催状況 .....	67
9.3.2	運営委員 .....	67

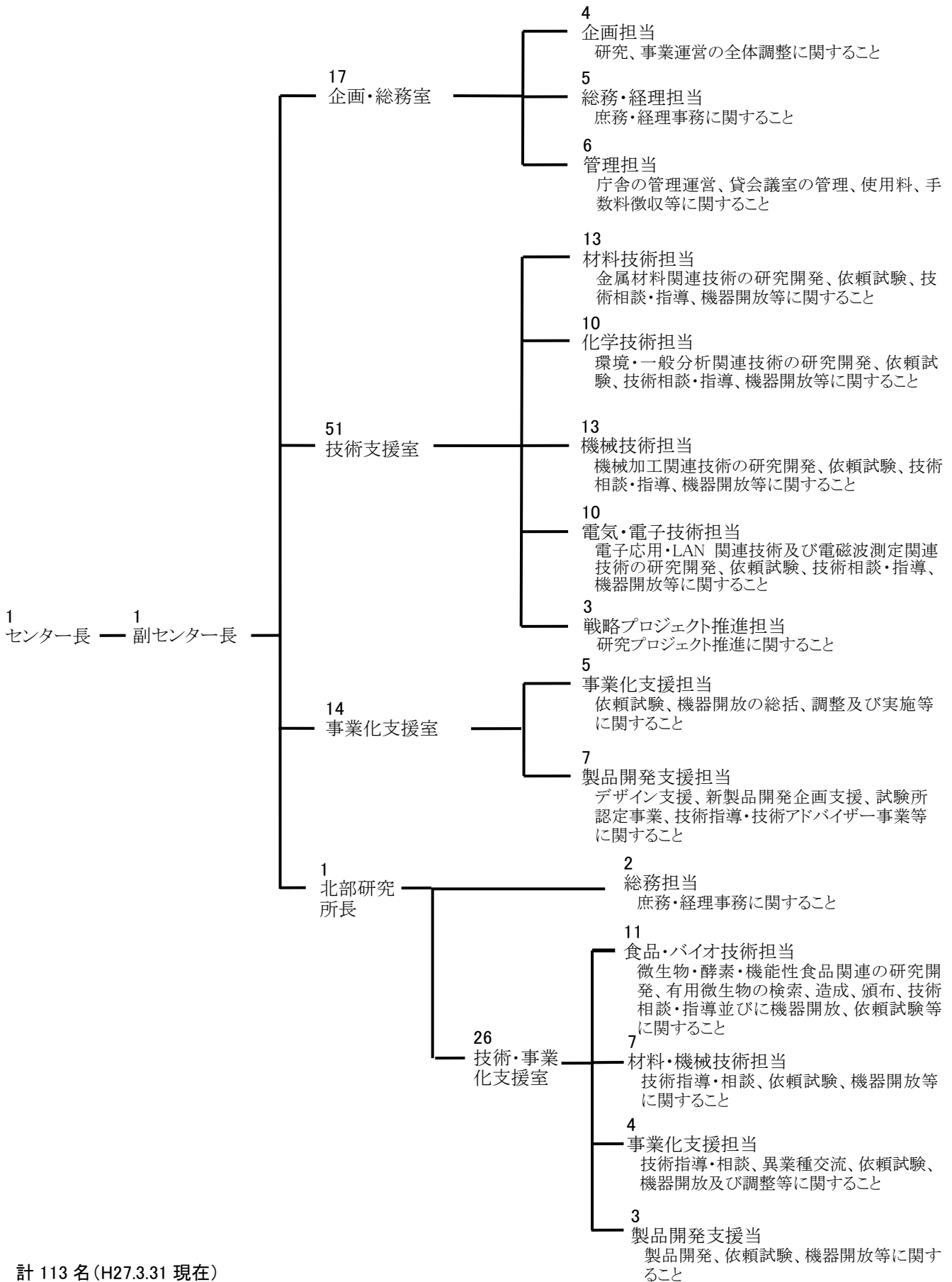


# 1 埼玉県産業技術総合センター概要

## 1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現 (独) 科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

## 1.2 組織と事務分掌





### 1.3 職員

センター長 (事)	牟田口 照 恭
副センター長兼室長 (事)・企画・総務	鈴 木 康 之

◆本 所

企画・総務室		副 室 長 (事)	大 山 亨
副 室 長 (技)	細 野 光 広		
企画担当		担 当 部 長 (技)	小 口 正 浩
技 師	蓮 俊 介	技 師	岩 崎 翼
技 師	佐 藤 優		
総務・経理担当		担 当 部 長 (事)	齊 藤 公 志
主 任 (事)	篠 将 威	主 任 (事)	井 上 香
主 任 (事)	荻 原 弘 之	非 常 勤	鎌 田 芳 江
管理担当		担 当 部 長 (事)	大 塩 澄 男
主 任 (事)	田 川 英 昭	嘱 託 (非常勤)	阿 満 誠 一 郎
嘱 託 (非常勤)	齊 藤 留 美	嘱 託 (非常勤)	橋 本 章 世
嘱 託 (非常勤)	芳 賀 祐 子		
技術支援室		室 長 (技)	高 橋 利 男
副室長兼戦略 プロジェクト推 進担当部長 (技)	關 根 正 裕		
材料技術担当		担 当 部 長 (技)	澁 谷 康 彦
担 当 部 長 (技)	麻 生 信 之	担 当 部 長 (技)	永 野 正 明
主 任 研 究 員 (技)	永 井 寛	専 門 研 究 員 (技)	矢 澤 貞 春
専 門 研 究 員 (技)	篠 崎 誠	専 門 研 究 員 (技)	清 水 宏 一
専 門 研 究 員 (技)	井 上 裕 之	主 任 (技)	秋 山 稔
主 任 (技)	菊 池 和 尚	主 任 (技)	和 田 健 太 朗
技 師	廣 島 啓 太	専 門 員 (技)	笹 川 俊 夫
化学技術担当		主 任 研 究 員 (技)	鈴 木 昌 資
専 門 研 究 員 (技)	奥 野 慎	専 門 研 究 員 (技)	熊 谷 知 哉
専 門 研 究 員 (技)	仲 島 日 出 男	専 門 研 究 員 (技)	佐 野 勝
主 任 (技)	灘 野 朋 美	主 任 (技)	坂 本 大 輔
主 任 (技)	須 川 真 希 代	技 師	細 見 喜 洋
技 師	大 西 健 太		
機械技術担当		担 当 部 長 (技)	福 島 泰 年
主 任 研 究 員 (技)	出 口 貴 久	専 門 研 究 員 (技)	小 熊 広 之
専 門 研 究 員 (技)	宇 野 彰 一	専 門 研 究 員 (技)	南 部 洋 平
主 任 (技)	島 崎 景 正	主 任 (技)	山 田 岳 大
主 任 (技)	落 合 一 裕	主 任 専 門 員 (技)	町 田 芳 明
技 師	長 野 隼 人	技 師	内 藤 理 恵
技 師	宮 崎 智 詞	技 師	佐 藤 宏 惟
電気・電子技術担当		担 当 部 長 (技)	安 藤 昌 弘
主 任 研 究 員 (技)	荻 野 重 人	専 門 研 究 員 (技)	能 戸 崇 行
専 門 研 究 員 (技)	鈴 木 浩 之	主 任 (技)	田 中 智 大
主 任 (技)	森 田 寛 之	主 任 (技)	宗 形 隆 史
技 師	鈴 木 啓 介	技 師	香 西 良 彦
技 師	杉 山 和 樹		
戦略プロジェクト推進担当		専 門 研 究 員 (技)	栗 原 英 紀
主 任 (技)	半 田 隆 志	技 師	稲 本 将 史

事業化支援室		室 長 (事)	土 井 智 行
副 室 長 (技)	増 田 伸 二		
事業化支援担当		担 当 部 長 (事)	青 山 正 則
専 門 員 (技)	棚 橋 綱 男	専 門 員 (技)	高 柳 博 通
専 門 員 (技)	齊 藤 弘 美	専 門 員 (技)	新 井 尚 機
製品開発支援担当		担 当 部 長 (技)	影 山 和 則
専 門 研 究 員 (技)	原 田 勝 利	専 門 研 究 員 (技)	唐 牛 聖 文
専 門 研 究 員 (技)	山 川 徹 郎	主 任 (技)	常 木 裕 己
主 任 (技)	本 多 春 樹	技 師	増 渕 維 摩

◆北部研究所

所 長 (技)	中 島 規 之		
総務担当		担 当 部 長 (事)	峯 岸 美 智 子
主 任 (事)	今 井 精 一		
技術・事業化支援室		室 長 (技)	戸 枝 保
食品・バイオ技術担当		担 当 部 長 (技)	増 田 こ ず え
担 当 部 長 (技)	小 島 登 貴 子	主 任 研 究 員 (技)	横 堀 正 敏
専 門 研 究 員 (技)	細 井 永 次	主 任 (技)	常 見 崇 史
主 任 (技)	樋 口 誠 一	主 任 (技)	富 永 達 矢
主 任 (技)	海 野 ま り え	技 師	飯 塚 真 也
技 師	成 澤 朋 之	技 師	鈴 木 康 修
材料・機械技術担当		担 当 部 長 (技)	小 林 茂
主 任 研 究 員 (技)	山 口 葉 子	主 任 (技)	関 根 俊 彰
主 任 (技)	鈴 木 理 博	技 師	鳥 羽 遼 子
専 門 員 (技)	大 川 薫	専 門 員 (技)	清 水 英 明
事業化支援担当		担 当 部 長 (事)	坂 田 義 雄
専 門 員 (技)	村 田 一 英	専 門 員 (技)	北 村 英 三
専 門 員 (技)	竹 内 了		
製品開発支援担当		担 当 部 長 (技)	宮 原 進
担 当 部 長 (技)	高 橋 広 子	技 師	石 井 誠

(H27.3.31 現在)

## 1.4 所在地、土地建物

◆ 埼玉県産業技術総合センター

所在地 川口市上青木三丁目12番18号

土地 18,352.58 平方メートル

建物

埼玉県産業技術総合センター 27,287.63 平方メートル

埼玉県生活科学センター 4,420.30 平方メートル

川口市立科学館 3,784.61 平方メートル

合 計 35,492.54 平方メートル

構造 地上9階/地下1階

◆ 北部研究所

所在地 熊谷市末広二丁目133番地

土地 5,923.30 平方メートル

建物

本 館 1,687.92 平方メートル

試験棟 494.27 平方メートル

新 館 602.84 平方メートル

試験棟 312.86 平方メートル

その他 73.60 平方メートル

合 計 3,171.49 平方メートル

## 1.5 会計

### ◆歳入

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
使用料及び手数料	232,696,455	15,931,084	248,627,539
使用料	152,007,385	5,311,064	157,318,449
行政財産使用料	37,167,268	477,754	37,645,022
商工業使用料	114,840,117	4,833,310	119,673,427
手数料	80,689,070	10,620,020	91,309,090
商工業手数料	80,689,070	10,620,020	91,309,090
財産収入	15,425,569	701,000	16,126,569
財産運用収入	15,331,234	0	15,331,234
財産貸付収入	15,331,234	0	15,331,234
財産売払収入	94,335	701,000	795,335
物品売払収入	94,335	0	94,335
生産物売払収入	0	701,000	701,000
諸収入	22,075,275	15,843,608	37,918,883
受託事業収入	16,870,000	0	16,870,000
商工受託事業収入	16,870,000	0	16,870,000
雑入	5,205,275	15,843,608	21,048,883
違約金延納利息	0	0	0
雑入	5,205,275	15,843,608	21,048,883
合 計	270,197,299	32,475,692	302,672,991

### ◆歳出

(単位:円)

科 目	本 所	北部研究所	合 計
総務費	38,567,028	1,003,638	39,570,666
総務管理費	349,060	809,238	1,158,298
一般管理費	166,300	45,000	211,300
人事管理費	182,760	672,438	855,198
財産管理費	0	91,800	91,800
防災費	0	194,400	194,400
消防防災費	0	194,400	194,400
県民費	38,217,968	0	38,217,968
消費者対策費	38,217,968	0	38,217,968
商工費	462,572,949	73,137,213	535,710,162
商工業費	462,572,949	73,137,213	535,710,162
商工総務費	3,278,538	2,374,322	5,652,860
商工振興費	37,799,510	684,778	38,484,288
産業技術総合センター費	421,494,901	70,078,113	491,573,014
合 計	501,139,977	74,140,851	575,280,828

## 1.6 貸会議室等

### 1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分 施設名	面積 (m <sup>2</sup> )	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
1	多目的ホール1	199.64	130	6,350	8,470	6,350	2,110
1	多目的ホール2	273.92	170	8,720	11,600	8,720	2,900
3	3A会議室	66.46	30	2,100	2,810	2,100	690
3	3B会議室	66.46	30	2,100	2,810	2,100	690
4	4A会議室	66.46	33	2,100	2,810	2,100	690
4	4B会議室	66.46	33	2,100	2,810	2,100	690
4	4C会議室	70.92	33	2,250	3,000	2,250	750

### 1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	129	146	73	348	57,134	58,045	36,388	151,567
多目的ホール2	148	154	73	375	60,560	60,740	36,512	157,812
3A会議室	123	147	83	353	3,799	4,111	1,886	9,796
3B会議室	116	148	69	333	3,626	4,082	1,700	9,408
4A会議室	127	149	77	353	4,498	4,873	2,367	11,738
4B会議室	103	140	76	319	4,596	5,167	2,384	12,147
4C会議室	78	103	46	227	3,696	4,125	1,817	9,638
合 計	824	987	497	2,308	137,909	141,143	83,054	362,106

### 1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	238	70	434	39	191	77	848	411	2,308
百分比(%)	10.3	3.0	18.8	1.7	8.3	3.3	36.7	17.9	100

### 1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	581	529	134	519	80	465	2,308
百分比(%)	25.2	22.9	5.8	22.5	3.5	20.1	100

## 1.7 試験研究設備の整備状況

### 新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
ワークテーブル	4	(株)サカエ WG-2F3B	本所
引張試験力点検装置	1	(株)島津製作所 1kN	本所
オゾン発生器	1	エコデザイン(株)ED-OG-R4	本所
ノートパソコン(次世代型ものづくり製品 開発支援事業)	4	マウスコンピューターMousePro-NB670B	本所
CAD/CAE用ワークステーション	1	HP Z260/CT Workstation	本所
低抵抗率計	1	(株)三菱化学 アナリテック ロレスタGX	本所
低抵抗率計用プローブ	1	(株)三菱化学 アナリテック MCP-TFP	本所
ナノ粒子計測装置	1	P-TRAK 社 Model_8525	本所
ブラックカーボンモニター	1	AethLabe 社 AE51	本所
バキュームクリーナー	1	三共機器(株) PEPA CLV-2021	本所
ナノ粒子解析装置	1	大塚電子(株) ELSZ-1000	本所
安全キャビネット	1	(株)三商 ADN-1300LSB	本所
動的粘弾性測定装置	1	(株)タイセーPz-Rheo	本所
グローブボックス	1	(株)グローブボックスジャパン GBJVO65	本所
防じん防止用マスク	4	興研 BL700-U	本所
卓上型万能材料試験機	1	(株)島津製作所 AGS-X 5kN	本所
電気化学測定回転電極装置	1	北斗電工(株) HR-500	本所
精製ガスフロー型グローブボックス	1	(株)グローブボックス・ジャパン GBJF120	本所
電磁波試験測定装置	1	キーサイトテクノロジー N9038A	本所
マイクロメーター付アプリケーター	1	テスター産業(株) SA-204	北部研究所
分析用電子天秤	1	(株)エー・アンド・デイ GH-252	北部研究所
液体窒素容器	1	(株)クライオワン DLS-50B	北部研究所
NAS サーバー	1	NEC NF8100-209Y	北部研究所
CAD/CAE用ワークステーション	1	DELL Precision タワー5810	北部研究所
分析走査電子顕微鏡一式※	1	日本電子(株) JSM-IT300LA	北部研究所
電子天秤	1	(株)エー・アンド・デイ 校正用分銅内蔵型	北部研究所
マルチシェーカー	1	東京理化器械 MMS-3010	北部研究所
振とう機用低温チャンバー	1	東京理化器械 FMC-1000	北部研究所

※ 公益財団法人 JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

## 2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、研究発表会等により技術の普及に努めた。また(公財)埼玉県産業振興公社が研究会等を運営し、電気自動車の分解展示等を行う際の支援を当センターが行った。

### 2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的問題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家、技術アドバイザー等による技術相談・指導を実施した。

#### 2.1.1 職員による技術相談・技術指導

◆本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	655
	特殊加工に関すること	1,278
	設計に関すること	112
	精密測定に関すること	3,301
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	197
	非鉄鋳物に関すること	105
	鋳型・鋳造方案に関すること	66
	鋳物不良対策に関すること	61
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	130
	腐食、防食に関すること	466
	熱処理に関すること	88
	塗装技術に関すること	9
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	430
	成分分析(非金属)に関すること	1,249
	材料強度等に関すること	697
	材料の物性、工業規格に関すること	536
	顕微鏡組織観察等に関すること	424
	材料のクレーム対策に関すること	70
	非破壊検査に関すること	159
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	2
	制御技術に関すること	55
	電気、電子技術に関すること	2,528
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	6
	セラミックス技術に関すること	23
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	708
	複合・接着技術に関すること	21
デザイン関連	商品企画に関すること	134
	プロダクトデザインに関すること	57
	グラフィックデザインに関すること	4
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	616
環境技術関連	再資源化に関すること	1
	廃棄物処理に関すること	11
	環境等に関すること	4
	環境浄化技術に関すること	6
	省エネ技術に関すること	4
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	189
	機器操作に関すること	211
	製品開発に関すること	737
	生産技術に関すること	19
	材料・製品試験に関すること	412
	講習会、研修会等に関すること	133
	アドバイザー指導等に関すること	15
	異業種交流に関すること	3
	情報検索に関すること	13
	特許に関すること	46
	制度融資、補助金等に関すること	83
	その他上記以外の事項	895
計 (うち実地指導件数)		16,969 (1,850)

## ◆北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	55
	素材分析に関すること	210
	成分分析(金属)に関すること	43
	成分分析(非金属)に関すること	14
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	7
	印刷技術に関すること	6
	染色堅ろう度等に関すること	72
	型紙調整等に関すること	2
	デザイン等に関すること	189
食品関連	酒類の製造に関すること	427
	穀類食品の製造に関すること	140
	調味料の製造に関すること	38
	漬物の製造に関すること	36
	その他食品の製造に関すること	97
	食品成分に関すること	118
	食品素材に関すること	67
	微生物・酵素に関すること	562
食品分析に関すること	384	
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	13
	素材の応用技術に関すること	84
設計・生産関連	切削に関すること	0
	特殊加工(機械等)に関すること	3
	設計に関すること	4
	精密測定に関すること	273
	生産技術(機械等)に関すること	0
	材料・製品試験(機械等)に関すること	29
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	92
	腐食・防食に関すること	304
	熱処理に関すること	134
	塗装技術に関すること	4
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	258
	材料の物性・工業規格に関すること	5
	顕微鏡組織観察等に関すること	42
	材料のクレーム対策に関すること	68
	非破壊検査に関すること	0
環境技術関連	再資源化に関すること	2
	省エネ技術に関すること	7
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	37
	機器操作に関すること	113
	コンピュータ等に関すること	5
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	119
	技術アドバイザー指導等に関すること	23
	異業種交流に関すること	58
	法規・規格・表示に関すること	1
	産業情報等の提供に関すること	15
	行政情報等の提供に関すること	11
その他上記以外の事項	137	
小計 (うち実地指導件数)		4,308 (733)

## ◆合計

機関名	相談件数 (うち実地指導件数)
本所	16,969(1,850)
北部研究所	4,308 (733)
合計	21,277(2,583)

### 2.1.2 技術アドバイザー指導事業

県内中小企業等の技術的課題を解決するため、依頼のあった企業に技術アドバイザーを派遣した。その主な成果は、次のとおりである。

○ 技術アドバイザー指導件数

#### ◆本所

産業分野	企業数	技術指導分野	件数
銑鉄鋳物	1	製品開発	8
住宅資材製造	1	品質管理	2
建築金物製造	1	生産管理	2
生活雑貨製造	1	原価管理	1
動力計製造	1	販売拡大	1
医療機器設計	1	認証取得	1
機械加工	1		
電源装置製造	1		
組立締結具製造	1		
金属製品製造	1		
チタン製品製造	1		
ヒートシンク製造	1		
茶道具製造	1		
電子機器製造	1		
金属線材加工	1		
小計	15	小計	15

#### ◆北部研究所

産業分野	企業数	技術指導分野	件数
食料品製造業	5	生産管理	3
		新製品開発	2
小計	5	小計	5

#### ◆合計

機関名	指導企業数	指導日数
本所	15	59
北部研究所	5	24
合計	20	83



### 2.1.3 現場改善・製品化支援事業

県内中小企業等の現場改善や製品化における課題を解決するため、依頼のあった企業に専門家を派遣した。その主な成果は、次のとおりである。

#### ○ 現場改善・製品化支援指導件数

##### ◆本所

産業分野	企業数
金属加工機械製造業	1
木製家具製造業	1
ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等製造業	1
時計・同部分品製造業	1
電気照明器具製造業	1
小計	5

技術指導分野	件数
製品開発	4
生産管理	1
小計	5

##### ◆北部研究所

産業分野	企業数
食料品製造業	2
小計	2

技術指導分野	件数
生産管理	1
新製品開発	1
小計	2

##### ◆合計

機関名	指導企業数	指導日数
本所	5	14
北部研究所	2	4
合計	7	18

## 2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

### 2.2.1 依頼試験

本所で依頼試験件数の多かった項目は、機器分析、強度試験及び精密測定であった。北部研究所では、一般分析、強度試験及び機器分析及び精密測定であった。

#### ◆本所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	142	439,630
	機器分析	5,117	30,940,010
材料試験	強度試験	3,128	4,274,910
	物理試験	153	691,220
	組織試験	1,613	6,011,820
	耐候性試験	467	3,889,120
	表面処理試験	1,303	4,107,840
測定及び検査	精密測定	2,685	7,797,830
	EMC測定	155	1,421,540
	非破壊検査	226	1,557,140
調製	試験片調製	1,189	963,800
立会試験		3	3,900
その他依頼試験		3,678	18,573,670
オーダー試験		8	22,320
試験成績書の複本		24	6,240
写真の焼増し又はカラー複写		103	41,200
小 計		19,994	80,742,190

#### ◆北部研究所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	561	521,070
	機器分析	401	2,026,900
材料試験	強度試験	560	451,600
	物理試験	188	188,870
	組織試験	53	65,410
	表面処理試験	265	1,662,900
	染色堅ろう度試験	265	202,690
測定及び検査	精密測定	519	1,540,020
官能試験	温度設定のない試験	7	1,820
調製	試験片調製	26	19,740
その他の依頼試験		1,250	3,887,320
オーダー試験		52	168,160
成績書の複本		2	520
小 計		4,149	10,737,020

#### ◆合計

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	19,994	80,742,190
北部研究所	4,149	10,737,020
合 計	24,143	91,479,210

### 2.2.2 放射線測定依頼試験

平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故発生により、放射能汚染の風評被害が工業製品にも起きた。風評被害に対応するため、平成23年度より工業製品の放射線測定の依頼試験を行っている。

検査対象	検査内容	検査実施場所	測定単位
1検体の一辺の大きさ80cm以内、重量30kg以内の工業製品(個体工業製品に限る)	サーベイメータによる製品表面の放射線量測定	本所	Cpm
			$\mu$ Sv/h
		北部研究所	Cpm
			$\mu$ Sv/h

機関名	件数	検体数
本所	10	71
北部研究所	15	100
合計	25	171

### 2.2.3 試験所の登録

当センターは、独立行政法人製品評価技術基盤機構において、工業標準化法の規定に基づく製品試験を行う者(試験所)を対象とした登録制度に登録されている。

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	登録年月日
燃焼-赤外線吸収法	試験方法規格 JIS G 1211-3 [適用範囲 0.040% $\leq$ C $\leq$ 4.00%]	平成20年8月1日
ロックウェル硬さ試験	試験方法規格 JIS Z 2245[適用範囲 20HRC $\leq$ ロックウェル硬さ $\leq$ 60HRC]	平成20年8月1日
金属材料引張試験	試験方法規格 JIS Z 2241 [適用範囲 12 kN $\leq$ 試験力 $\leq$ 200 kN]	平成21年7月23日
蛍光X線分析	試験方法規格 JIS G 1256 [試験範囲(単位:%(m/m)) 低合金鋼 0.01 $\leq$ Mn $\leq$ 2.00 0.01 $\leq$ Ni $\leq$ 3.80 0.01 $\leq$ Cr $\leq$ 4.50 0.01 $\leq$ Mo $\leq$ 1.20 ステンレス鋼 0.10 $\leq$ Mn $\leq$ 7.50 0.25 $\leq$ Ni $\leq$ 24.0 8.00 $\leq$ Cr $\leq$ 22.5 0.02 $\leq$ Mo $\leq$ 3.80]	平成21年7月23日

## 2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

### 2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。機器の総数は、合計 191 機器である(平成 27 年 3 月末現在)。

本所で特に利用件数の多かった機器は電波暗室電磁波試験測定装置、次いでシールドルーム電磁波試験測定装置、電磁波障害対策室電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで、冷熱衝撃試験機、熱風循環式乾燥機の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は角型シートマシン、万能材料試験機(300kN)、万能材料試験機(10kN)の順であった。利用時間として最も多かった機器は、冷熱衝撃試験機、次いで恒温恒湿槽、高速液体クロマトグラフの順であった。

分類別の利用総額と利用件数及び利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

#### ◆本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	3,990,650	309	2,514	3,307,370	286	683,280
表面観察機器	412,680	209	909	299,520	67	113,160
強度試験機器	1,147,680	374	1,470	739,320	209	408,360
精密測定機器	4,392,230	569	2,311	2,370,110	853	2,022,120
測定機器	834,180	435	1,760	588,180	100	246,000
試料調製機器	1,040,510	96	5,102	1,018,370	9	22,140
電気・電子測定機器	34,092,820	1,258	4,465	28,560,340	2,249	5,532,480
評価試験機器	15,875,120	225	26,579	15,796,400	32	78,720
分析機器	1,857,360	257	796	1,822,920	14	34,440
小計	63,643,230	3,732	45,906	54,502,530	3,819	9,140,700

#### ◆北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	76,840	96	267	71,920	2	4,920
表面観察機器	27,660	8	14	3,060	10	24,600
強度試験機器	298,900	144	335	183,280	47	115,620
精密測定器	602,540	88	475	430,340	70	172,200
測定機器	117,010	73	349	87,490	12	29,520
試料調製機器	101,950	13	222	92,110	4	9,840
評価試験機器	3,734,240	96	8,134	3,029,420	287	704,820
分析機器	565,100	160	801	533,120	13	31,980
小計	5,524,240	678	10,597	4,430,740	445	1,093,500

#### ◆合計

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
本所	63,643,230	3,732	45,906	54,502,530	3,819	9,140,700
北部研究所	5,524,240	678	10,597	4,430,740	445	1,093,500
合計	69,167,470	4,410	56,503	58,933,270	4,264	10,234,200

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

## 2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	141日・249人
研修日数・参加人数(北部)	9日・15人

## 2.4 技術普及業務

### 2.4.1 SAITEC 研究発表会

平成 25 年度のセンターの研究成果及び様々な技術支援を紹介するとともに、大学等他機関からの研究や支援情報などの発表を加え、新たな技術や支援など幅広い情報提供を行った。

開催日：平成 26 年 9 月 18 日(木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：154 名

内容：

(1) 研究成果発表 10 テーマ(他都県、大学等からの発表を含む)[内容は 3.4.1 項を参照]

(2) ポスター展示

SAITEC 平成 25 年度研究成果 5

SAITEC の紹介 11

他都県の研究成果 5

貸研究室内の紹介 1

貸研究室入居企業 5

(3) 講演

○テーマ 「巨大宇宙開発プロジェクトを支える部品・材料評価技術」

宇宙航空研究開発機構(JAXA) 木本 雄吾 氏

○テーマ 「3Dプリンタの現状とものづくりへの活用について」

3Dものづくり普及促進会 澤越 俊幸 氏

(4) 3Dものづくり紹介

SAITEC職員による発表 3

他県公設試からの発表 1

(5) 施設見学会

参加者 77 名

見学場所 ①3Dプリンタ、非接触形状測定機(3Dデジタイザ)、X線CT精密測定装置

②電波暗室、三次元測定機、走査型電子顕微鏡

③X線回析装置、核磁気共鳴装置、赤外分光光度計

### 2.4.2 SAITEC 北部研究所研究発表会

食品・バイオ技術などの研究成果を発表するとともに、「食品産業トータルサポート事業」による商品開発事例と新規導入機器について紹介した。

開催日：平成 26 年 10 月 3 日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：63 名

内容：「食品産業トータルサポート事業」の紹介、SAITEC 研究成果発表及び展示

(1) 「食品産業トータルサポート事業」による商品開発事例の紹介

(2) 研究成果の発表 4 テーマ[内容は 3.4.1 項を参照]

(3) 新規導入機器の紹介

(4) 展示等 研究成果パネル、県内産小麦で作ったパンの試食、清酒の試飲

## 2.5 次世代自動車支援事業の運営支援

次世代自動車に対し県内中小企業の新規参入や既存企業の技術転用を促進するため、(公財)埼玉県産業振興公社が自動車産業部会を組織したが、その中の各研究会等の運営・開催に対し当センターが支援を行った。具体的には、各研究会に対し下記のとおり担当者を決めて活動した。

### 2.5.1 部会及び各研究会参加企業数

#### (1) 自動車産業部会

部会	参加企業数	時点
自動車産業部会	121 社	H27.3.31

#### (2) 自動車産業部会内の各研究会

研究会	参加企業数	時点
モータ・パワエレ研究会	20 社	H27.3.31
軽量化研究会	22 社	H27.3.31
現場力強化研究会	15 社	H27.3.31
車両分解研究会	28 社	H27.3.31

### 2.5.2 研究会等の名称及び担当者一覧表

研究会等		担当者
窓 口		影山 和則、原田 勝利
技術開発領域	モータ・パワエレ研究会	荻野 重人、島崎 景正
	軽量化研究会	小熊 広之
	車両分解研究会	島崎 景正、宮崎 智詞、鳥羽 遼子
製造技術領域	現場力強化研究会	原田 勝利、唐牛 聖文

### 2.5.3 各研究会の概要

#### (1) モータ・パワエレ研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H26.6.4	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	14	19
H26.8.22	第2回研究会(第1回次世代自動車技術セミナーと共同開催)	新都心ビジネス交流プラザ	16	22
H26.10.15	第3回研究会	埼玉県産業技術総合センター	14	18
H27.1.21	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	10	13

#### (2) 軽量化研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H26.5.22	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	30	40
H26.7.10	第2回研究会	東芝機械(株)沼津工場	13	21
H26.8.20	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	35	41
H26.9.24	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	32	42
H26.12.18	第5回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	33	44
H27.2.19	第6回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	21	27

#### (4) 現場力強化研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H26.7.4	第1回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	16	43
H26.9.12	第2回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	15	40
H26.12.15	第3回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	15	38
H27.2.13	第4回研究会	新都心ビジネス交流プラザ	15	44
H27.3.27	合同現場確認会	株式会社フロロコート(川越市)	12	26

## (5) 車両分解研究会

年月日	内 容	開 催 場 所	参加社数	参加人数
H26.7.19～27	ホンダ「フィット」分解部品 一般公開	埼玉県産業技術総合センター	-	1,521
H26.9.10～11	試乗会(VW POLO)	埼玉自動車大学校	11	22
H26.11.5～6	発足会／車両分解立会	埼玉自動車大学校	24	延べ 117
H26.11.19	基調講演会・部品展示一 般公開	埼玉県産業技術総合センター	122	206
H27.3.6	最終報告会	新都心ビジネス交流プラザ	21	30

## 2.6 技術講習会、講演会の開催

## ◆本 所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H26.4.7	埼玉県鋳物技術委員 会	埼玉県産業技術 総合センター	・今年度埼玉県鋳物技術委員紹介 ・今年度埼玉県鋳物技術委員会の進め 方について ・第 50 回埼玉県鋳造技術コンクール開 催要綱の決定 ・関東経産局長賞の位置付けの検討等 ・今年度の埼玉県鋳物技術講演会・鋳 物技術講習会のテーマ及び講師の選定 ・その他	18
H26.4.7	第544回埼玉県鋳物技 術講演会	埼玉県産業技術 総合センター	「made in Japan こだわる鋳物づくり」 (株) 古久根 代表取締役社長 古久根 靖 氏	42
H26.5.8	第50回記念埼玉県鋳 造技術コンクール説明 会	川口鋳物工業 協同組合	実施概要・採点要領について 埼玉県産業技術総合センター 主任 菊池 和尚 課題の凝固解析事例について 埼玉県産業技術総合センター 主任研究員 永井 寛	26
H26.6.4 ～6.6	第232回埼玉県鋳物技 術講習会	川口鋳物工業 協同組合	全体テーマ「技能検定のための鋳造技 術の基礎知識」 6月4日 「Part I」 (一社) 日本鋳造協会 技術顧問 納谷 喜郎 氏 6月5日 「Part II」 ものつくり大学 教授 鈴木 克美 氏 6月7日 「Part III」 (株) 永瀬留十郎工場 技術顧問 永瀬 勇 氏	101

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H26.7.9	第545回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「鋳鉄の材料特性向上ー鋳鉄にはまだまだ材料改善の余地があるー」 ものつくり大学 教授 鈴木 克美 氏	65
H26.9.3 ～9.5	第233回埼玉県鋳物技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	全体テーマ「3Dデータ活用によるものづくりのための三次元CAD入門」 9月3日 「3Dプリンタを活用したものづくり最新事情」 (株)大塚商会 アプリケーションスペシャリスト 結城 隆治 氏 「三次元CAD(SolidWorks)の基礎」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏 9月4日 「三次元CADを利用した3Dプリンタ用データの作成演習1及び演習2」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏 9月5日 「三次元CADを利用した3Dプリンタ用データの作成演習3」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏 「3Dプリンタで作製した造形物と三次元形状データとの比較」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 代表取締役 國岡 保弘 氏	55
H26.9.18	SAITEC研究発表会	埼玉県産業技術総合センター	平成25年度SAITECの研究発表、研究成果ポスター等展示 講演会、施設見学会	154
H26.10.8	第546回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「3Dデータ利用によるものづくりー3Dプリンタの活用ー」 埼玉県産業技術総合センター 専門研究員 南部 洋平 「3Dデータ利用によるものづくりーX線CT、3Dデジタルの活用ー」 埼玉県産業技術総合センター 専門研究員 宇野 彰一	40
H26.11.21	第50回記念埼玉県鋳造技術コンクール表彰式及び講評会	川口鋳物工業協同組合	講評会講師 鋳物技術委員 永瀬 勇 氏 表彰式 関東経済産業局 産業部担当次長 大熊 章 氏 他	50
H26.12.3 ～12.5	第234回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	全体テーマ「鋳鉄溶解技能士のための基礎講座」 12月3日 「Part I」 川口鋳物工業協同組合 技術顧問 山中 昇 氏 12月4日 「Part II」 伊藤鉄工(株) 製造部長 岡崎 清治 氏 12月5日 「Part III」 (株)永瀬留十郎工場 技術顧問 永瀬 勇 氏	83



年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H26.12.5	EMC ノイズ対策講習会 (第1回)	埼玉県産業技術 総合センター	「ノイズ対策のための接地・グラウンド技術」 株式会社電研精機研究室 ノイズトラブル相談室 室長 平田 源二 氏	55
H27.1.21	第57回埼玉県めっき技術 競技会表彰式	パレスホテル大宮	講評 埼玉県鍍金工業組合 技術顧問 山崎 健次 氏	34
H27.1.28	EMC ノイズ対策講習会 (第2回)	埼玉県産業技術 総合センター	「ノイズ及び対策について講義」 星和電機株式会社 コンポーネント社 樋口 太郎 氏	5
H27.2.4	第547回埼玉県鋳物技術 講演会	川口鋳物工業 協同組合	「シェルモールド法と低臭気コーテッド サンドのガス欠陥低減事例」 (株) 瓢屋 技術商品開発室 部長 曾根 孝明 氏	14
H27.2.5	埼玉ロボットニーズ研究会 (第1回)	新都心ビジネス交流 プラザ	「自治体等による取り組み事例等の紹介」 経済産業省 田中 幸仁 氏	59
H27.2.25	埼玉ロボットニーズ研究会 (第2回)	新都心ビジネス交流 プラザ	「ニーズ把握型 医療系ものづくりプロジェクトについて」 (公財)埼玉県産業振興公社 深江 英典 氏	36
H27.3.4 ～3.6	第235回埼玉県鋳物技術 講習会	川口鋳物工業 協同組合	全体テーマ「最新鋳型技術と環境改善の 動向」 3月4日 「ワンストップソリューション としての新鋳型材料技術」 ASKケミカルジャパン (株) テクニカルサービス部長 間瀬 和行 氏 3月5日 「フランププロセスにおける新 技術と採用事例」 群栄化学工業 (株) 鋳物材料開発 研究員 渡辺 一郎 氏 3月6日 「最新の有機バインダーの開 発動向」 花王キューカー (株) 豊橋研究室 研究員 松尾 俊樹 氏	83
H27.3.6	熱処理発表会	埼玉県産業技術 総合センター	「真空浸炭における雰囲気制御の実 際」 オリエンタルエンジニアリング (株) 研究開発部 研究室 小松 元是 氏 「高周波工場の2S事例」 (株) オーネックス 生産課課長 鈴木 英二 氏 「磁気特性評価装置」 電子磁気工業 (株) 開発部開発課 井家 奈津子 氏 「浸炭処理による熱処理不具合事例 と最適な熱処理条件の設定方法」 (株) ヨシノハード 技術営業担当常務取締役 押味 直人 氏	46

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H27.3.11	電子計測セミナー	埼玉県産業技術総合センター	「USB2.0/Ethernet コンプライアンス・デバックセミナー」 テレデザイン・レクロイ・ジャパン株式会社 伊藤 渉 氏	6
H27.3.18	埼玉ロボットニーズ研究会(第3回)	新都心ビジネス交流プラザ	「農業用ロボットの現状および最新動向」 埼玉県産業技術総合センター 専門研究員 能戸 崇行 「グループホームあかつき施設訪問報告」 埼玉県産業技術総合センター 主任研究員 荻野 重人	33

◆北部研究所 (主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H26.10.3	SAITEC北部研究所研究発表会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「食品産業トータルサポート事業」による商品開発 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 所長 中島 規之 (有)モリシゲ物産 代表取締役社長 矢島 繁 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 小島 登貴子 主任 常見 崇史 担当部長 高橋 広子	63
H26.11.6	第 11 回埼玉北部地域技術交流会	埼玉工業大学	研究報告「本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの概要について」 (公財)本庄早稲田国際リサーチパーク 専務理事 荒川 正夫 氏 埼玉県の新たな挑戦 ～先端産業創造プロジェクトの展開～ 埼玉県産業労働部産業支援課 先端産業担当 原田 雅典 新素材カーボンの事業化に向けて 埼玉工業大学工学部生命環境化学科 松浦 宏昭 氏 構造体コンクリートの品質管理に関する研究 ～ボス供試体による強度管理、透気試験による表層品質管理～ ものづくり大学技能工芸学部建設学科 澤本 武博 氏 宇宙産業へ ～中小企業の挑戦～ (独)宇宙航空研究開発機構新事業促進センター新事業グループ 原田 正行 氏 3D プリンターの活用について 埼玉県産業技術総合センター技術支援室機械技術担当 南部 洋平	336
H27.3.2	食品セミナー	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「過去の食品安全に関する事件・事故から学ぶ」 工学院大学工学部 教授 山田 昌治 氏	101

◆本所(支援事業)

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
H26.5.15	埼玉県ものづくり研究会 総会・講演会	埼玉県産業技術 総合センター	・通常総会 ・講演会 「METROTOM 800の機能および導入事例紹介」 カールツァイス株式会社 原 正丈 氏	33
H26.5.23	埼玉県熱処理技術研究会 総会及び記念講演会	埼玉県産業技術 総合センター	総会、講演会 「触媒の働き -環境を浄化する触媒として-」 独立行政法人産業技術総合研究所 工学博士 小淵 存 氏	28
H26.6.19 6.24 7.4 7.17	熱処理技術講習会	埼玉県産業技術 総合センター	熱処理の社員教育 熱処理技術研究会役員、他	延べ61
H26.6.26 ～6.27	第14回鋳鉄品の超音波 試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総 合センター	・「非破壊検査総論」 埼玉大学名誉教授 加藤 寛 氏 ・「鋳鉄品の強度評価」 北海道大学名誉教授 野口 徹 氏 ・「鋳鉄の超音波試験」 (有)日下レアメタル研究所 取締役 鹿毛 秀彦 氏 ・「超音波試験の基礎」 (一社)日本非破壊検査工業会 後河内 薫 氏 ・「実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 (一社)日本非破壊検査工業会 森 繁樹 氏 (地)東京都立産業技術研究センター 渡部 友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛	20
H26.9.10	埼玉県ものづくり研究会 中堅社員向け研修(第1 回)	有限責任監査法人 トーマツ さいたま 事務所	仕事の進め方 『コミュニケーションとメンタルヘルス』 有限責任監査法人トーマツ 大嶋 徳康 氏 中西 俊晴 氏	17
H26.10.3	実践型熱処理技術講習 会	埼玉県産業技術総 合センター	『先端を行く表面硬化技術』 ・「各種複合処理の特性と応用」 オリエタルエンジニアリング(株) 代表取締役 河田 一喜 氏 ・「最近の高周波焼入れ技術と装置に ついて」 高周波熱錬(株) 工場長 黄川田 賢二 氏 ・「オーステナイト系ステンレス鋼の 真空浸炭技術」 (有)南信熱錬工業 代表取締役 向山 淳 氏	40
H26.11.26	埼玉県ものづくり研究会 中堅社員向け研修(第2 回)	大宮ソニックシティ	いまだら人に聞けない管理職が知ってお くべき『会社の数字』の基本 有限責任監査法人トーマツ 中西 俊晴 氏	9

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H27.1.26 ～1.30	鑄造カレッジ関東地区・ インターンシップ	埼玉県産業技術総 合センター	<p>1月26日</p> <p>「CE値と冷却曲線及び凝固」 (一社)本鑄造協会 北澤 幸廣 氏</p> <p>「溶解実験概要及び溶解材料配合計算 法」 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛</p> <p>「造型実習」 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛、菊池 和尚</p> <p>「炉前試験及び組織観察法」 元(公社)日本鑄造工学会 野口 昌彦 氏</p> <p>1月27日</p> <p>「化学成分分析法の原理」 埼玉県産業技術総合センター 鈴木 昌資</p> <p>「溶解実習」 埼玉県産業技術総合センター 關根 正裕、永井 寛、菊池 和尚、 永野 正明、篠崎 誠、井上 裕之、 秋山 稔、廣島 啓太</p> <p>1月28日</p> <p>「非破壊試験・解説、見学及び実習」</p> <p>①浸透探傷試験法・解説及び実習 元(公社)日本鑄造工学会 野口 昌 彦 氏</p> <p>②磁粉探傷試験法・解説及び実習 電子磁気工業(株) 大矢 和彦 氏、日野 純男 氏</p> <p>③X線透過試験法及びX線CT法・解 説及び見学 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛、菊池 和尚、宇野 彰一</p> <p>④超音波探傷試験法・解説 東芝電力検査サービス(株) 坂代 一郎 氏</p> <p>⑤超音波探傷試験法・実習 東芝電力検査サービス(株) 坂代 一郎 氏、鹿毛 秀彦 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛、菊池 和尚</p> <p>1月29日</p> <p>「鑄鉄の材料試験の実際(見学)」 埼玉県産業技術総合センター 澁谷 康彦、矢澤 貞春、廣島 啓太</p> <p>(続く)</p>	20

年月日	名称	会場	支援内容等	参加人数
H27.1.26 ～1.30	鑄造カレッジ関東地区・ インターンシップ	埼玉県産業技術総合センター	(続き) 「金属組織の観察」 ①組織観察試料とその評価法・解説 元日立金属(株) 五十嵐 芳夫 氏 ②金属組織の観察・実習 元日立金属(株) 五十嵐 芳夫 氏元 (公社)日本鑄造工学会 野口 昌彦 氏 川口鑄物工業協同組合 吉田 幸弘 氏、原 貴史 氏 伊藤鉄工(株) 来栖 直樹 氏 埼玉県産業技術総合センター 永野 正明、篠崎 誠、秋山 稔 「試料の音速とヤング率測定・実習」 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛、菊池 和尚 1月30日 「鑄造品の不良解析と対策事例」 元日立金属(株) 五十嵐 芳夫 氏 「まとめと発表」 (一社)日本鑄造協会 北澤 幸廣 氏、富澤 達 氏、石原 安興 氏 早稲田大学名誉教授 中江 秀雄 氏 五十嵐 芳夫 氏、野口 昌彦 氏	
H27.3.4	埼玉県ものづくり研究会 中堅社員向け研修 (第3回)	大宮ソニックシティ	明日からの業務に使える『問題解決の手法』入門 有限責任監査法人トーマツ 水上 航 氏	18

◆北部研究所(支援事業)

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H26.6.10	埼玉県米菓研究会講習会	新都心ビジネスプラザ	「米菓業界の将来展望」 一般社団法人 菓子・食品新素材技術センター 所長 早川 幸男 氏	26
H26.6.17	市販清酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「各社で一番売りたい純米(純米吟醸)酒」 官能審査及び講評 関東信越国税局 鑑定官室長 須藤 茂俊 氏 鑑定官 阿久津 武広 氏 彩の国酒造り学校校長 大橋 勝 氏 学識経験者 山田 和男 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 増田 こずえ 主任研究員 横堀 正敏 技師 鈴木 康修 講演 「純米吟醸酒らしさ」 関東信越国税局 鑑定官室長 須藤 茂俊 氏 「デザイン」 製品開発支援担当 担当部長 高橋 広子 「新しい分析方法」 京都電子工業(株) 藤野 譲 氏	45

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H26.9.18	清酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	出品点数 吟醸酒の部 50点(16場) 純米酒の部 32点(16場) 清酒審査講評 関東信越国税局 小濱 元 氏 学識経験者 大橋 勝 氏 山田 和男 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 増田 こずえ 主任研究員 横堀 正敏	25
H26.11.13	米菓研究会秋の勉強会	新都心ビジネスプラザ	「人手不足の今、労働力を確保せよ」 埼玉労働局職業安定部職業対策課 課長 加藤秋雄 氏	15
H26.12.15	吟醸酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	パネルディスカッション 「吟醸酒造りの要点」 進行 杜氏会会長 柿沼 和洋 氏 講演 「埼玉県内各社の平成25酒造年度全国新酒鑑評会審査結果平均値より」 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏	16
H27.3.6	埼玉県米菓研究会 新春情報交換会	新都心ビジネスプラザ	「地域絶品食のマーケティング」 一物売るにはコトの仕掛けが必要ー 合同会社廣龍 代表社員 佐竹 嘉廣 氏	25
H27.3.13	杜氏酒造研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	「吟醸酒の管理と出品について」 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 増田 こずえ	21
H27.3.24	新酒研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	出品点数 40点(14場) 清酒審査講評 関東信越国税局 松本 健 氏 学識経験者 大橋 勝 氏 山田 和男 氏 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 増田 こずえ 主任研究員 横堀 正敏	18

注) 米菓研究会、市販清酒研究会、清酒研究会、吟醸酒研究会、杜氏研究会、新酒研究会については、5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)に再掲。

## 2.7 培養酵母の頒布

種別	本数	金額(円)
酒類用酵母	1,366 本	683,000
醤油用酵母	12 本	18,000
合計	1,378 本	701,000

### 3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発や生産システム等の課題に対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価委員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

#### 3.1 研究開発

##### 3.1.1 政策的研究課題

###### (1) 政策的研究開発事業(産業支援研究)

###### ◆本所

- 高周波誘電加熱を利用した軽量・高強度部材の接合技術の実用化
- 電気化学プロファイルによる水質評価解析システムの開発
- 炭素繊維強化熱可塑性プラスチック(CFRTP)の構造部材への適用
- オンサイト型ナノインデント用XYステージの開発
- 最適車いす設計支援のための、ステレオカメラを用いた、座面簡易 3次元計測システムの開発
- 燃料電池用白金触媒の代替材料の開発
- 環境に優しい安価で高性能な電池の開発  
～マグネシウム蓄電池の実用化に係る研究～

###### ◆北部研究所

- 高温環境下での水蒸気透過度測定技術の開発  
～防湿性接着剤の開発に向けて～
- フレーバー評価技術の確立による製品の高付加価値化と品質管理への応用

###### (2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

###### ◆本所

- 積層造形物の表面処理による高付加価値化
- 各種ステンレス鋼の耐食性データベースの作成
- リチウム硫黄電池の開発
- ナノカーボンを用いたレジオネラ菌の迅速検出技術の開発
- 高度 FRP リサイクルシステムの開発
- 利用者の活動範囲拡大に伴う車いすの高強度化に向けた基礎技術の検討

###### ◆北部研究所

- 3D エアロクロマトの開発
- 高香気生成酵母の利用性向上に関する研究～埼玉 G 酵母と埼玉 E 酵母の混合仕込～

###### (3) 競争的資金による研究開発等

###### ①受託研究

- [戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]
- 金属粉末成形用の金型潤滑油と塗布システムの開発
- [研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) 実用化挑戦ステージ 実用化挑戦タイプ 中小・ベンチャー開発 (独) 科学技術振興機構(JST)]
- バイオハザード迅速検出システム
- [研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)の産学共同促進ステージ ハイリスク挑戦タイプ (独) 科学技術振興機構(JST)]
- 1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションによる3D手術支援サービスの実用化
- [平成 26 年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業 農林水産省]
- 高アミロース米のダイレクト糊化による低コスト高付加価値食品の開発

###### ②その他の支援

- [戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

- 複合乳酸菌発酵法を利用した大豆を原料とする抗ストレス食品素材の開発
- ゲル状めっきシステムの開発
- [平成 26 年度厚生労働科学研究委託費 厚生労働省]
- 痙性や体重による車椅子過負荷に対応した試験方法の開発に関する調査研究

### 3.1.2 受託研究

#### (1) 企業からの受託研究

	件数	金額 (円)
本 所	23	4,829,000
北部研究所	14	1,712,900
計	37	6,541,900

#### (2) 外部競争的資金による受託研究

	件数	契約額 (円)
本 所	2	1,828,100
北部研究所	1	1,800,000
本所・北部研究所	1	6,700,000
計	4	10,328,100

## 3.2 研究開発及び技術支援による実用化・商品化

研究開発及び技術支援によって、企業が技術の実用化をし、または開発したものを商品化した。

- (1) ソフトスチーム技術を利用した炊飯器の開発
- (2) オリジナルプリント(布製品)のデザイン開発
- (3) 県産材を使ったパズルのデザイン開発
- (4) 無農薬米のパッケージデザイン
- (5) 幼稚園向けのサインデザインの開発
- (6) あま酒飲料のパッケージデザイン

## 3.3 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員	指導分野	指導日数
埼玉工業大学 矢嶋 龍彦 氏	生産 関 連	5
工学院大学 山田 昌治 氏	バイオ 関 連	4
埼玉大学 長谷川 登志夫 氏	バイオ 関 連	2
東京大学 空閑 重則 氏	バイオ 関 連	5
4 名	2 分 野	16



### 3.4 研究成果の公表

#### 3.4.1 センター主催の発表

##### ◆本所

SAITEC 研究発表会（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第12巻』）

	研究題目	発表者名
H26.9.18	オンサイトナノインデント用 XY ステージの開発	電気・電子技術担当 荻野 重人
	熱可塑性FRPの高性能化と高度利用に関する研究 ～リサイクル性、補修性を有する軽量高強度複合材料に関する研究～	機械技術担当 小熊 広之
	熱可塑性FRPの高性能化と高度利用に関する研究～ ～高周波誘電加熱によるガラス繊維強化ポリプロピレンの接合～	化学技術担当 佐野 勝
	医療用穿刺針の高品質化に関する研究	機械技術担当 落合 一裕
	電気化学プロファイルによる水質評価解析システムの開発	化学技術担当 熊谷 知哉

##### ◆北部研究所

SAITEC 北部研究所研究発表会（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第12巻』）

年月日	研究題目	発表者名
H26.10.3	流動性材料に対する水蒸気透過度測定方法の検討 ～三酢酸セルロース保持基材を用いた測定～	食品・バイオ技術担当 飯塚 真也
	安全・安心な食品製造工程の管理技術の確立 ～食中毒菌の迅速検出技術の開発～	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
	高温もろみ対応清酒酵母の開発	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏
	県内産小麦を用いた特色のあるパン・麺用小麦粉の開発	食品・バイオ技術担当 小島 登貴子

### 3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)

#### ◆本所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H26.6.2	High-frequency welding of glass-fiber-reinforced polypropylene with a thermoplastic adhesive layer including SiC	Masaru Sano Hiroyuki Oguma Masahiro Sekine		International Journal of Adhesion & Adhesives, 54(2014)124-130
H26.6.3	連続炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の力学特性向上(第3報)	小熊 広之	第25回プラスチック成形加工学会年次大会	
H26.6.3	微細発泡射出成形における無発泡/発泡層境界領域の大きな扁平化気泡形成過程の可視化解析	山田 岳大	第25回プラスチック成形加工学会年次大会	
H26.6.18	座位姿勢計測器による計測方法の検討	半田 隆志 他	第48回日本作業療法学会	
H26.9.11	High-frequency Welding of Glass-Fibre-Reinforced Polypropylene using a Thermoplastic Adhesive Layer	Masaru Sano Hiroyuki Oguma Masahiro Sekine	5th World Congress on Adhesion and Related Phenomena(WCARP-V)	
H26.9.16	ピエゾアクチュエータ用変位拡大機構の開発	荻野 重人	2014年度精密工学会秋季大会学術講演会	2014 精密工学会秋季大会講演論文集
H26.9.24	車椅子上褥瘡予防監視システムにおける除圧動作判別機能の開発	半田 隆志 他	生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会2014	
H26.10.3	表面改質による炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の強度向上効果	小熊 広之	59th FRP CON-EX2014講演会	
H26.10.18	SiC粒子添加アルミニウム合金基複合材鋳物の超音波探傷による信頼性向上	永井 寛	(公社)日本鋳造工学会第165回全国講演大会	
H26.10.20	微細発泡射出成形における障害ピン周りとウェルドライン領域の発泡構造形成過程の可視化解析	山田 岳大 横井 秀俊		成形加工,25,11 (2013) 540-546
H26.10.21	Test method of posture change type wheelchair	Takashi Handa et., al.	ISO/TC/173/SC1/WG1	
H26.10.23	炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の強度向上	小熊 広之	産業技術連携推進会議 第52回高分子分科会	
H26.10.27	誘電セラミックス含有熱可塑性接着層を用いたガラス繊維強化ポリプロピレンの高周波誘電接合	佐野 勝 小熊 広之 関根 正裕	第58回日本学術会議材料工学連合講演会	
H26.11.22	キネクトを用いて計測した車椅子上除圧動作と臀部接触圧との関係	半田 隆志 他	第10回日本シーティング・シンポジウム	
H27.2.7	High-frequency welding of glass-fibre-reinforced polypropylene with a thermoplastic adhesive layer: Effect of ceramic type and long-term exposure on lap shear strength	Masaru Sano Hiroyuki Oguma Masahiro Sekine		International Journal of Adhesion & Adhesives, 59(2015)7-13
H27.2.26	A Study of a Measuring Method of Wheelchair Seated Posture (Using a Seating Measuring Instrument)	Takashi Handa et., al.	31 <sup>th</sup> International Seating Symposium	

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H27.3.1	オゾン酸化処理による連続炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料の力学特性向上	小熊 広之 熊谷 知哉 佐野 勝 坂本 大輔 井上 裕之 篠崎 誠 細見 喜洋 関根 正裕		プラスチック成形加工学会誌 Vol.27 No.3 2015 P102-108.

◆北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H26.4.1	薄膜試験片調整の困難な材料に対する三酢酸セルロース保持による水蒸気透過度測定	飯塚 真也 村田 一英 関根 正裕 他		色材協会誌 第87巻 第4号
H26.6.19	食中毒菌の迅速検出技術の開発	富永 達矢	平成26年度東京都立産業技術研究センター研究成果発表会	平成26年度東京都立産業技術研究センター研究発表会要旨集
H26.7.31	高温もろみ経過による清酒製造	横堀 正敏	平成26年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会	平成26年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会要旨集
H26.8.30	埼玉県産小麦のうどん製麺工程時の香気成分の変化	成澤 朋之 仲島 日出男 小島 登貴子他	日本食品科学工学会第61回大会	日本食品科学工学会大会 講演要旨集
H26.9.15	遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発～地域食品工場における実現可能性の検討～	富永 達矢 増田 こずえ 関根 正裕		日本食品科学工学会誌 第61巻第9号
H26.10.24	流動性材料に対する水蒸気透過度測定方法の検討	飯塚 真也 村田 一英 関根 正裕 他	色材協会発表会	色材協会発表会
H27.3.27	埼玉県産小麦「さとのそら」と「農林61号」のストリーム粉のグルテンタンパク質組成の比較	小島 登貴子 成澤 朋之 仲島 日出男他	日本農芸化学会2015年度大会	2015年度大会講演要旨集
H27.3.28	埼玉県産小麦のストリーム粉の一般成分と揮発性成分との相関	成澤 朋之 小島 登貴子 仲島 日出男他	日本農芸化学会2015年度大会	2015年度大会講演要旨集

## 3.5 研究課題の評価

### 3.5.1 事前評価

平成 27 年度の研究計画課題について、課題選定や予算策定の基礎資料とするため、内部委員による内部評価を行った上で、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事前評価を行った。

#### ○研究評価委員会

##### 外部委員

(平成 27 年 2 月 24 日開催)

東京電機大学

(一社)埼玉県中小企業診断協会

(公財)埼玉県産業振興公社

埼玉大学

(独)産業技術総合研究所

教授

会長

よろず支援コーディネータ

教授

イノベーションコーディネータ

檜村幸辰氏

高澤彰氏

野口満氏

松本幸次氏

山中忠衛氏

### 3.5.2 事後評価

平成 25 年度の研究結果について、今後の新しい研究や研究成果の普及の参考とし、さらに効率的研究の推進を図るため、外部委員や内部委員による事後評価を行った。

#### ○研究評価委員会

##### 外部委員

(平成 26 年 5 月 29 日開催)

東京電機大学

東洋パーツ(株)

(公財)埼玉県産業振興公社

埼玉大学

(独)産業技術総合研究所

教授

会長

シニアアドバイザー

教授

イノベーションコーディネータ

檜村幸辰氏

小菅一憲氏

野口満氏

松本幸次氏

山中忠衛氏

### 3.5.3 中間評価

研究の進捗状況を把握し、その進行を適切に管理するために中間ヒヤリングを以下のとおり実施した。  
産業支援研究・新技術創出調査研究 平成 26 年 10 月 6 日

## 4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、技術相談や共同研究による企業の支援を行った。また、研究発表会を開催し、SAITEC の研究成果を紹介した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

### 4.1 産学官連携の推進

#### 4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金については、連携により継続 4 件、新規 1 件の採択を得た。

平成 25 年度補正予算「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」については、平成 26 年度に公募が 2 回に分けて行われ、応募への相談支援を 219 社、また、獲得した企業 99 社に対し 83 社の支援をそれぞれ行った。また、SAITEC 研究発表会の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

#### 4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

##### (1) SAITEC 研究発表会

SAITEC の研究成果の展示・発表及び、国・大学等の研究や支援に関する情報提供などを県内企業等に向け行った。

開催日：平成 26 年 9 月 18 日(木)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：154 名

内容：SAITEC 及び他県公設試験研究機関の研究成果発表、ポスター展示、講演、施設見学会

①研究成果発表 10 テーマ[内容は 3.4.1.参照]

②3Dものづくり紹介

SAITEC職員による発表 3

他県公設試からの発表 1

③講演

テーマ 「巨大宇宙開発プロジェクトを支える部品・材料評価技術」

宇宙航空研究開発機構(JAXA) 木本 雄吾 氏

テーマ 「3Dプリンタの現状とものづくりへの活用について」

3Dものづくり普及促進会 澤越 俊幸 氏

④施設見学会

⑤展示等

##### (2) SAITEC 北部研究所研究発表会

食品・バイオ技術などの研究成果を発表するとともに、「食品産業トータルサポート事業」による商品開発事例と新規導入機器について紹介した。

開催日：平成 26 年 10 月 3 日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：63 名

内容：「食品産業トータルサポート事業」の紹介、SAITEC 研究成果発表及び展示

①「食品産業トータルサポート事業」による商品開発事例の紹介

・事業の概要

・荳胡麻(えごま)を利用した商品開発

・ソフトスチーム加工技術による製品開発

・委託研究によるデザイン開発事例

②研究成果発表 4 テーマ[内容は 3.4.1 項を参照]

③新規導入機器の紹介

④展示等 研究成果パネル、県内産小麦で作ったパンの試食、清酒の試飲

##### (3) 第 11 回埼玉北部地域技術交流会

45 企業、7 大学、4 金融機関、19 支援機関が出展し、製品紹介、事業紹介、研究成果の展示及び技術相談会等を開催し、参加者との交流を図った。併せて、先端産業関連セミナー(6 テーマ)を開催した。

開催日：平成 26 年 11 月 6 日(木)

会場：埼玉工業大学

セミナー：①研究報告「本庄早稲田オープンイノベーションネットワークの概要について」

- (公財)本庄早稲田国際リサーチパーク専務理事 荒川 正夫 氏
- ②埼玉県の新たな挑戦 ～先端産業創造プロジェクトの展開～  
埼玉県産業労働部産業支援課先端産業担当 原田 雅典
- ③新素材カーボンの事業化に向けて  
埼玉工業大学工学部生命環境化学科 松浦 宏昭 氏
- ④構造体コンクリートの品質管理に関する研究 ～ボス供試体による強度管理、透気試験による表層品質管理～  
ものづくり大学技能工芸学部建設学科 澤本 武博 氏
- ⑤宇宙産業へ ～中小企業の挑戦～  
(独)宇宙航空研究開発機構新事業 促進センター新事業グループ 原田 正行 氏
- ⑥3D プリンターの活用について  
埼玉県産業技術総合センター技術支援室機械技術担当 南部 洋平

出 展：75 企業・団体

参 加 者：524 名

#### 4.1.3 産学官連携に関連する展示会

平成 26 年度は、主催の展示会のみならず、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。平成 26 年度の出展実績は以下のとおりである。

年 月 日	展示会の名称	開催場所	参加人数
H26.9.18	SAITEC 研究発表会	埼玉県産業技術総合センター	154
H26.10.3	SAITEC 北部研究所研究発表会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	63
H26.10.18～19	ものづくり技能フェスタ	埼玉県県民活動総合センター	43
H26.11.6	第 11 回埼玉北部地域技術交流会	埼玉工業大学	524
H26.11.19～21	産業交流展 2014	東京国際展示場	508
H27.1.28～29	産学連携フェア 2015 (彩の国ビジネスアリーナ 2015 同時開催)	さいたまスーパーアリーナ	171
H27.2.4	埼玉県農商工連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	74

#### 4.1.4 SAITEC 内特別チーム

##### (1) 目的

SAITEC のミッションである「県内企業の振興と発展」の具現化に向けて、状況判断により、組織の枠組みを超えて横断的に運営する。

改廃は状況判断により随時行い、定期的(半年を目途)にそのミッション、メンバーを見直すものとする。承認、発効はセンター長による。

注:proj活動となるが、組織名:戦略プロジェクト推進と混同されるため、特別チームと呼ぶ。(〇はリーダーを指す)

##### (2) SAITEC 内 特別チーム

特別チーム名	発足年月	メンバー	目的及び活動実績	終了年月
ソフトウェア	H24.12	○鈴木 浩之 本多 春樹 宮原 進 関根 俊彰	目的:市場規模と参入障壁を考慮して、製品の高付加価値化を支援する。最新動向をとらえ知見を深化する。 実績:	
CAE	H25.4	○宇野 彰一 落合 一裕 佐藤 宏惟 関根 俊彰 鳥羽 遼子	目的:技術開発・試作品製作時間の短縮支援の強化。CAD データを活用した技術支援体制の拡大・整備。 実績:開発製品やクレーム対策前後の試作前強度確認として、線形及び非線形構造解析の受託研究等を 5 件行った。	

## 4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国の重要施策である新規産業創造の実現に向けた「研究・技術開発に対する助成制度」を積極的に活用するための取り組みを行っている。

### 4.2.1 研究開発型企业支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(独)産業技術総合研究所、(独)理化学研究所、(公財)埼玉県産業振興公社等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的資金では次の「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」を除くと、継続4テーマを実施した。新規応募ではサポインに1テーマ採択されたものの諸般の事情により辞退となった。平成25年度補正予算「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金」については、平成26年度に公募が2回に分けて行われ、応募への相談支援を219社、また、獲得した企業99社に対し83社の支援をそれぞれ行った。(再掲)。

### 4.2.2 埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
平成26年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	金属粉末成形用の金型潤滑油と塗布システムの開発	(株)青木科学研究所 ポーライト(株) R-GOT(株) 静岡大学 群馬県立産業技術センター
研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) (独)科学技術振興機構)	1時間以内で個別最適化した手術を完了できる人工関節手術ナビゲーションによる3D手術支援サービスの実用化	(株)レキシ アルスロデザイン(株) NPO 三次元工学会 埼玉医科大学 日産玉川病院
	バイオハザード迅速検出システム	フルイドウェアテクノロジーズ(株) (独)産業技術総合研究所 警察庁科学警察研究所 静岡県立大学(薬学部) 岐阜大学(医学部) 名古屋大学(医学部)
平成26年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業	高アミロース米のダイレクト糊化による低コスト高付加価値食品の開発	(株)新井機械製作所 (株)ブルミッシュ (独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 愛知県農業総合試験場 東京大学大学院

### 4.2.3 次世代型ものづくり製品開発支援事業

次世代産業分野(省エネルギー・新エネルギー関連産業分野、健康・医療・福祉関連産業分野、先端ものづくり関連産業分野、新規創出関連産業分野)に進出するため先進的な取り組みを行おうとする企業等に対し、製品開発プロデューサーの一元的な管理の下で当センターのシーズと専門アドバイザーなどを活用することにより、新製品の試作開発から販路開拓までを一貫して支援した。

#### (1)支援の概要:

##### ①製品開発プロデューサーによる支援

民間企業等において新製品開発の経験や指導の経験を有する者を、製品開発プロデューサーとして各企業に配置し、試作開発から販路開拓に係る支援を実施した。

##### ②専門アドバイザーによる支援

製品開発プロデューサーの一元的な管理のもと、特に専門性が高い技術等について専門家を活用した。

##### ③試作支援

当センターの所有する設備および保有する技術などを活用し、製品開発の迅速化・高度化・高精度化を支援した。

(2)支援状況

支援企業数 6社

・内訳:

健康・医療・福祉関連産業分野	2社
先端ものづくり関連産業分野	3社
新規創出関連産業分野	1社

### 4.3 特許の取得推進とその活用

#### 4.3.1 産業財産権の一覧

(1)特許権

平成 26 年度は新たに 1 件の特許出願があった。

下表はセンターが所有する特許全 44 件(未公開 2 件含む)のうち、登録又は出願公開されたものである。なお、センターでは産業財産権のうち特許以外の出願及び権利の所有はない。

番号	名称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	成形鏡面研削装置	H10.2.26 特願平 10-045434	H11.9.7 特開平 11-239969	H20.4.4 4104199	永井 寛 野口 清隆 新井 尚機 戸枝 保 出口 貴久 進藤 久宜 小熊 広之	(独)理化学研究所 共同
2	チタン系金属製品の製造方法及びチタン系金属製品	H14.6.17 特願 2002-176243	H16.1.22 特開 2004-18954	H22.8.20 4570315	出口 貴久	(株)アクトメント 共同
3	超磁歪素子の伸縮制御装置	H14.12.4 特願 2002-352179	H16.7.2 特開 2004-187419	H20.3.28 4102655	荻野 重人 宇野 彰一	
4	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、(株) 愛工舎製作所 共同
5	粘弾性測定装置及び粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.21 4299100	関根 正裕 荻野 重人	(有)サンズコーポレーション 共同
6	チタン系金属製品の製造方法	H16.2.27 特願 2004-53845	H17.9.8 特開 2005-240144	H22.2.5 4452524	出口 貴久	(株)アクトメント 共同
7	漬床及びこれを用いた漬物の製造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株)、(株) 愛工舎製作所、東洋大学 共同
8	大腸菌群の汚染源特定方法及びその検出に使用する大腸菌群検出用培地セット	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-43921	H23.7.29 4789540	富永 達矢 関根 正裕	
9	超微小硬さ等測定装置及び測定方法	H17.11.18 特願 2005-334061	H19.6.7 特開 2007-139592	H21.9.18 4376858	荻野 重人	
10	チタン系金属材料用電解エッチング液及びチタン系金属製品の製造方法	H18.1.16 特願 2006-7700	H19.7.26 特開 2007-186776	H24.2.17 4925670	出口 貴久	
11	ドリルのシンニング装置及びシンニング形成方法	H18.2.3 特願 2006-27551	H19.8.16 特開 2007-203427	H23.12.16 4882103	南部 洋平 落合 一裕	日本ノズル精機(株) 共同
12	センサー機能付アクチュエータ装置および粘弾性測定装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-29111	H25.2.8 5190606	関根 正裕	(有)サンズコーポレーション、(有)カトランスフォーム、共同
13	変形測定装置、変形測定方法及び変形測定プログラム	H19.3.19 特願 2007-69810	H20.10.2 特開 2008-232686	H24.6.22 5017556	白石 知久 栗原 英紀	
14	身体傾斜角計測器および身体ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527	H23.12.16 4885795	半田 隆志	他 2 名共同



番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
15	溶接装置および溶接方法	H19.6.1 特願 2007-146598	H20.12.11 特開 2008-296260	H24.12.14 5156266	白石 知久 栗原 英紀	他1名 共同
16	研削加工用砥石の製造装置及び製造方法	H19.6.15 特願 2007-158686	H20.12.25 特開 2008-307647	H25.1.18 5178060	落合 一裕 南部 洋平	(株)タナカ技研、 埼玉大学 共同
17	樹脂構造物の製造方法	H19.3.23 特願 2007-76552	H20.10.2 特開 2008-231355	H25.3.1 5205636	山田 岳大	
18	細菌による汚染の汚染源特定方法	H20.4.28 特願 2007-117212	H21.11.12 特開 2009-261363	H25.7.12 5310997	富永 達矢 関根 正裕	
19	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-25923	H25.8.2 5327532	山田 岳大 関根 正裕	
20	加熱調理装置	H22.3.12 特願 2010-516841	H21.12.7 PCT/JP2009/60429	H24.11.9 5130363	関根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、学校法人早稲田大学 共同
21	振動生成装置、動的粘弾性測定装置、および、動的粘弾性測定装置	H20.8.22 特願 2008-214580	H22.3.4 特開 2010-48722	H25.4.5 5233044	関根 正裕	(株)GMタイセー 共同
22	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-68549	H25.5.2 5256414	荻野 重人	
23	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839	H25.6.7 5282231	関根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
24	ドレッシング及びその製造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468	H25.11.15 5407035	井上 和春	みたけ食品工業 (株)、東洋大学、 (株)愛工舎製作所 共同
25	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
26	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H21.11.17 特願 2009-261903	H23.6.2 特開 2011-108478	H26.3.20 5499281	栗原 英紀 斉田 吉裕 稲本 将史	
27	加熱調理装置、および、加熱調理方法	H22.3.12 特願 2012-504256	H23.9.15 WO/2011/111231	H25.10.18 5386701	関根 正裕	(株)T.M.L、(株)新井機械製作所 共同
28	バーチャルウエスタンブロットティングシステム	H22.4.28 特願 2012-512589	H23.11.3 WO/2011/135701		関根 正裕	(株)エヌビー健康研究所 共同
29	品質保持剤およびその用途	H22.7.2 特願 2010-151674	H24.1.19 特開 2010-10658		小島登貴子 樋口 誠一 仲島日出男	
30	マグネシウム二次電池用の電解液、マグネシウム二次電池および電解液の製造方法	H23.1.17 特願 2011-7251	H24.8.9 特開 2012-150924		栗原 英紀 稲本 将史	
31	切削加工装置、振動条件提示装置及びその方法	H23.3.9 特願 2011-52238	H24.10.4 特開 2012-187656		南部 洋平 落合 一裕	
32	米飯製造方法及び米飯製造装置	H24.1.29 特願 2012-009321	H25.8.1 特開 2013-146224		関根 正裕	(株)T.M.L、早稲田大学 共同

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
33	接着剤及びその接着剤を使用した樹脂接合方法	H24.2.17 特願 2012-032540	H25.8.29 特開 2013-166904		関根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
34	関節置換術用ナビゲーション装置、そのプログラム、手術支援装置	H24.8.10 特願 2012-178914	H26.2.27 特開 2014-36700		半田 隆志	アルスロデザイン(株)、(株)レキシー、埼玉医科大学 共同
35	接着剤及び樹脂接合方法	H24.8.17 特願 2012-180727	H26.2.27 特開 2014-37489		関根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
36	振動波形発生装置、振動付加装置、振動加工装置	H24.9.5 特願 2012-195109	H26.3.20 特開 2014-50897		南部 洋平 落合 一裕	
37	固体樹脂の接合方法	H24.11.22 特願 2012-256570	H26.6.20 特開 2014-105215		山田 岳大	前澤化成工業(株) 共同
38	角度計測システム及びプログラム	H24.12.6 特願 2012-267211	H26.6.28 特開 2014-113197		半田 隆志	アルスロデザイン(株)、(株)レキシー 共同
39	吸熱マット、保護カバー	H24.12.11 特願 2012-270444	H26.6.26 特開 2014-115855		関根 正裕	市原清二 共同
40	燃料用電池及びカソード	H25.2.28 特願 2013-39566	H26.9.11 特開 2014-167876		栗原 英紀 稲本 将史	
41	加熱調理器及び加熱調理方法	H25.3.14 特願 2013-51464	H26.9.25 特開 2014-176460		関根 正裕	(株)TML、ユーテック(株) 共同
42	アクチュエータ	H25.3.27 特願 2013-66299	H26.10.6 特開 2014-193015		荻野 重人	

#### 4.3.2 実施許諾

平成 26 年度は「成形鏡面研削装置」、「接着剤及びその接着剤を使用した樹脂接合方法」の計 2 件の実施許諾契約を締結し、実施許諾先企業数は合計 16 社(使用特許数は 20 件)となった。

## 5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

### 5.1 異業種交流支援事業

#### 5.1.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換、大学・企業等との交流、研修会及び講演会等の産学官交流を行った。総会・例会・研修会・役員会の開催は合計9回であった。主な活動実績は次のとおりである。

会 長： 岩崎 一隆(株式会社 岩崎食品工業 代表取締役社長)

会員数： 30 社

年月日	開催場所	内 容
H26.5.28	埼玉県産業技術総合センター	◇平成26年度総会 ◇埼玉県産業技術総合センター新設備紹介と見学
H26.7.25	株式会社木屋製作所	第1回例会 株式会社木屋製作所 工場概要の説明及び工場見学会
H26.9.29～ 30	三菱重工業株式会社	第2回例会 三菱重工業(株)小牧南工場名古屋航空・宇宙システム 製作所史料室見学 トヨタ館、トヨタ工場の見学
H26.12.5	大宮ソニックシティ	第3回例会 講演「政財界リーダーの条件」とは 講師 作家 大下英治 氏
H27.3.9	石福金属興業株式会社	第4回例会 石福金属興業株式会社の見学会 大下英治塾との交流会

#### 5.1.2 埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット)

北部研究所強化事業の一環として、県北地域の中小企業経営者を中心に平成 20 年度に発足した異業種グループで、活動実績は次のとおりである。

代表幹事： 田端 克雄 (㈱フィールド・サイド代表)

会 員 数： 6 名

年月日	開催場所	内 容
H26.4.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第1回例会 ・講演「醤油のお話」
H26.5.22	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第2回例会 ・情報提供：①中欧旅行報告 ②寄居町中心市街地活性化シンポジウム報告
H26.6.19	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第3回例会 ・情報提供：6次産業について
H26.8.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第4回例会 ・情報提供：①東京オリンピック聖火台 ②裁判員裁判に参加して
H26.9.11	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第5回例会 ・講演「曇のはなし」
H26.10.2	東京国際フォーラム	◇第6回例会 ・東京国際フォーラム視察
H26.10.3	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第7回例会 ・北部研究所研究発表会参加
H26.11.6	埼玉工業大学	◇第8回例会 ・第11回埼玉北部地域技術交流会参加
H26.12.18	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第9回例会 ・講演「電子顕微鏡のはなし」
H27.1.29	さいたまスーパーアリーナ	◇第10回例会 ・彩の国ビジネスアリーナ 2015 視察
H27.3.2	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第11回例会 ・食品セミナー参加

### 5.1.3 埼玉食品テクノプラザ

技術講演会への参加、交流会への出展並びに先進企業の視察等、交流活動を実施した。

代表幹事： 吉野 彰（大東食研㈱、H26.11～(株)マコト）

会員数： 16名

年月日	開催場所	内容
H26.5.19	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会
H26.6.20	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会 ◇総会 ・平成25年度事業報告 平成25年度決算報告 ・平成26年度事業計画 平成26年度予算
H26.10.3	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇北部研究所研究発表会 ・「食品産業トータルサポート事業」による商品開発 ・研究成果発表 ・新規導入機器の紹介
H26.11.6	埼玉工業大学	◇第11回埼玉北部地域技術交流会 ・食テック紹介及びメンバー企業の製品展示
H26.11.13	東京都内	◇都内視察 ・アーバンファーム(株)、NL ローソン東京日本橋一丁目店、 虎ノ門ヒルズ
H27.3.2	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇食品セミナー 「過去の食品安全に関する事件・事故から学ぶ」 講師：工学院大学教授 山田 昌治 氏

### 5.1.4 さきたま利根テクノプラザ(STTEP)

会員が抱える開発、技術関連及び経営等の課題について、情報や意見の交換等を行い、中小企業の発展及び技術の向上や、技術交流及び経営交流の促進を目的とする。本グループの事務局は北部研究所が担当しており、会員は12企業である。

代 表： 小菅 一憲（東洋パーツ株式会社 会長）

参加企業： 12企業

年月日	開催場所	内容
H26.4.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H26.5.28	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H26.6.27	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H26.7.17	長瀨町、長生館	情報交換
H26.9.22	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H26.10.24	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H26.11.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H26.12.19	熊谷市、池端	情報交換
H27.2.13	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H27.3.20	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換

## 5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

### 5.2.1 鋳物技術委員会

本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として当センターの業務に有効・適切な助言と指導を受けるため、委員会を開催した。主な検討事項は鋳造技術コンクールに関する助言、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等である。なお、委員会は、県依頼の委員3名、業界依頼の委員4名及び川口市職員1名、県職員2名の10名の委員にオブザーバー2名の合計12名で構成する。

平成26年度から開催回数は1回(出席者18名)となった。

(役員)	委員長	川口鋳物工業協同組合	技術顧問	山中 昇 氏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	材料技術担当	
		川口鋳物工業協同組合	総務課	

### 5.2.2 埼玉県ものづくり研究会

本研究会は、ものづくりのコア技術ならび関連技術の普及、向上に寄与することを目的に、平成19年7月に埼玉県NC工作機械研究会と埼玉県金型研究会を発展的に統合し設立され、講演会、講習会の開催、加工・組み立て技術に関する研究開発、技術者の養成等を主な事業としている。平成26年度は、講演会1回、研修会3回を開催し、参加者は、延べ77名であった。

(会員数) 正会員41社、賛助会員4社

(役員) 会長 (株)田口型範 田口 順 氏

副会長 (株)ユニテック 斉藤 正洋 氏

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 機械技術担当

### 5.2.3 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術を向上するため、昭和44年6月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

平成26年度は講演会を2回、講習会を2回、工場見学会を1回開催し、参加者は延べ185名であった。

(会員数) 63社

(役員) 会長 山方技術士事務所 山方 三郎 氏

副会長 (株)椿本チェーン 吉澤 英明 氏

〃 (有)中村熱処理工業所 中村 賢一 氏

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 材料技術担当

### 5.2.4 品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉)

品質工学は、量産現場における工程管理だけでなく、製品開発や技術開発を効率よく行う工学的手段である。本研究会は、全国組織である品質工学会の埼玉県内在勤・在住の会員を中心に品質工学の普及・発展を図るために設立し、会場の提供や研究会の運営について当センターが支援している。月に一度の定例会と年に数回講演会を行っている。

平成26年度は定例会を11回開催し、参加者は延べ103名であった。

(会員数) 36名

(役員) 代表 (株)アルビオン 深澤 宏 氏

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 材料技術担当

### 5.2.5 埼玉県米菓研究会

会員の技術の向上並びに会員相互の親睦を図るため、研究会を開催した。

平成26年度は定例会3回開催し、参加者は延べ66名であった。

(会員数) 30社(正会員25、賛助会員5)

(役員) 会長 (株)折原米菓工場 折原 一嘉 氏

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 食品・バイオ技術担当

### 5.2.6 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

(会員数) 35社

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 食品・バイオ技術担当

(1)市販清酒研究会

流通過程における品質について外装審査、官能評価及び成分分析の試験調査を行って把握し、新製品開発の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日：平成26年6月17日

調査試料：各社で一番売りたい純米(純米吟醸)酒

出品点数：28点

参加者：45名(埼玉県吟友会会員、製造担当者、彩の国酒造り学校生徒、他)

#### (2)清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために、出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日：平成26年9月18日

出品点数：吟醸酒の部 50点(16場)

純米の部 32点(16場)

参加者：25名(杜氏、酒造担当者)

#### (3)吟醸酒研究会

平成25酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実施日：平成26年12月15日

参加者：16名(杜氏、酒造担当者)

パネルディスカッション：「吟醸酒づくりの要点」

パネリスト	小江戸鏡山酒造(株)	柿沼 杜氏
	松岡醸造(株)	松岡 杜氏
	(株)矢尾本店	鷹木 杜氏
	滝澤酒造(株)	滝澤 杜氏
	横田酒造(株)	高橋 杜氏

講演：「埼玉県内各社の平成25酒造年度全国新酒鑑評会審査結果平均値より」

講師：埼玉県産業技術総合センター北部研究所 主任研究員 横堀 正敏

#### (4)杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日：平成27年3月13日

参加者：21名(杜氏、酒造担当者)

講演：「吟醸酒の管理と出品について」

講師：埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 担当部長 増田 こずえ

#### (5)新酒研究会

全国新酒鑑評会への出品に向け、その候補たる火入れ酒の官能評価を行い、成分分析値と共に検討することによって、入賞および金賞受賞点数の増加を図る。

実施日：平成27年3月24日

出品点数：40点

参加者：18名(杜氏、酒造担当者)

### 5.2.7 埼玉県ロボットニーズ研究会

開発意欲のある作り手と導入ニーズのある使い手が一緒に、ユーザーニーズのあるロボットづくりの企画に取り組む研究会を設置した。

平成26年度は定例会を3回開催し、参加者は延べ128名であった。

(会員数) 57社

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター 電気・電子担当

### 5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】

首都圏の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

#### 5.3.1 首都圏公設試連携推進会議の開催 3回(第46回～第48回)

- (1)平成26年6月13日(火) (地独)東京都立産業技術研究センター 本部
- (2)平成26年8月29日(金) 神奈川県産業技術センター
- (3)平成26年11月27日(木) 埼玉県産業技術総合センター

#### 5.3.2 首都圏公設試連携推進会議(TKFフォーラム)の開催(第49回)

平成27年2月27日(金) 千葉工業大学

#### 5.3.3 研究発表者相互派遣事業

##### (1) 発表者派遣

##### ① (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への参加

平成26年6月19日(木)

技術支援室 戦略プロジェクト推進担当 技師 稲本 将史  
 北部研究所 食品・バイオ技術担当 主任 富永 達矢

##### ② 千葉県産業支援技術研究所研究発表会への参加

平成26年7月31日(木)

北部研究所 食品・バイオ技術担当 主任研究員 横堀 正敏

##### ③ 神奈川県産業技術センター研究発表会への参加

平成26年10月22日(水)

技術支援室 機械技術担当 主任 落合 一裕

平成26年10月23日(木)

技術支援室 戦略プロジェクト推進担当 技師 稲本 将史

##### (2) 評価委員派遣

##### ① (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への派遣

平成26年6月19日(木)

技術支援室 電気・電子技術担当 担当部長 安藤 昌弘

平成26年6月19日(木)

技術支援室 電気・電子技術担当 主任研究員 荻野 重人

##### (3) 発表者受け入れ(SAITEC 研究発表会)

##### ① 川口会場(本所):平成26年9月18日(木)

東京都 1名  
 神奈川県 1名  
 千葉県 1名  
 群馬県 1名  
 新潟県 1名

#### 5.3.4 産業交流展2014への参加

- (1) 期日:平成26年11月19日(水)～11月21日(金)
- (2) 場所:東京国際展示場

#### 5.3.5 パートナー・グループ事業

##### (1) 微細加工分科会の実施

年月日	場 所	参 加 者
H27.2.17	(地独)東京都立産業技術研究センター	機械技術担当 出口 貴久 南部 洋平

(2) バイオ技術パートナーグループの実施

年月日	場所	参加者
H26.6.5	千葉県産業支援技術研究所	食品・バイオ技術担当 横堀 正敏 樋口 誠一

5.3.6 その他への発表(他県での研究発表会等)

◆本所

年月日	研究題目	発表者名	発表会名	論文
				掲載雑誌名
H26.6.19	燃料電池白金代替触媒の開発	稲本 将史	平成26年度東京都立産業技術研究センター研究成果発表会	平成26年度東京都立産業技術研究センター研究発表会要旨集
H26.10.22	医療用穿刺針の高品質化に関する研究	落合 一裕	神奈川県ものづくり技術交流会	神奈川県ものづくり技術交流会要旨集
H26.10.23	燃料電池白金代替触媒の開発	稲本 将史	平成26年度神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会	平成26年度神奈川県産業技術センターものづくり技術交流会要旨集

◆北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	発表会名	論文
				掲載雑誌名
H26.6.19	食中毒菌の迅速検出技術の開発	富永 達矢	平成26年度東京都立産業技術研究センター研究成果発表会	平成26年度東京都立産業技術研究センター研究発表会要旨集
H26.7.31	高温もろみ経過による清酒製造	横堀 正敏	平成26年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会	平成26年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会要旨集

5.3.7 広域首都圏輸出製品技術支援センター(略称:MTEP)

首都圏の公設試が連携して実施する中小企業の海外展開支援サービスで、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験について技術的な支援を実施するもので、平成24年10月24日(地独)東京都立産業技術研究センター内に開所し、平成26年度は以下の事業を行った。

- (1) 県内企業の利用実績 790件(平成26年度)[機器利用・依頼試験を含む]  
うち、専門相談員による相談指導 1件
- (2) 事務局会議
  - ・平成26年6月13日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター
  - ・平成26年8月29日(金) 神奈川県産業技術センター
  - ・平成26年11月27日(木) 埼玉県産業技術総合センター
  - ・平成27年2月27日(金) 千葉工業大学

5.3.8 平成25年度経済産業省補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」(関東地域)

関東経済産業局管轄区域(1都10県)に運営協議会を設置し、地域のイノベーション促進を目的に、関東甲信越静地域内の公設試験研究機関、産業支援機関により組織され、平成26年3月に関東経済産業局が策定した「関東地方産業競争力強化戦略」で特化した分野から「航空機関連産業」に注目し、関東甲信越地域における航空機関連産業の育成、地域企業によるイノベーション創出に向けて、①試験研究・検査設備などの基盤整備②これら機器の広域的活用を促進するための広報事業③公設試験研究機関や産業支援機関との情報交換・交流等の事業を実施した。

- (1) 運営協議会等の開催



- ・平成 26 年 4 月 17 日(金) 第 1 回総会 (地独)東京都立産業技術研究センター
  - ・平成 26 年 5 月 30 日(金) 第 2 回総会 ホテルニューオータニ長岡(新潟県長岡市)
  - ・平成 26 年 11 月 19 日(木) 第 3 回総会 (地独)東京都立産業技術研究センター
  - ・平成 27 年 1 月 22 日(木) 第 4 回総会 第 5 マルカビル(新潟県新潟市)
- (2) 利用普及のPR活動
- ・平成 26 年 12 月 19 日(金) H25 年度国補正予算事業 地域オープンイノベーション促進事業  
(関東地方)シンポジウム  
演題 先端ものづくり 航空機産業の未来  
(地独)東京都立産業技術研究センター
  - ・平成 27 年 2 月 4 日(水) 彩の国産業活性化交流会 SAITEC多目的ホール
- にて、導入機器やその利活用を紹介した。  
 その他として、ホームページへの掲載、メールマガジンの配信及びSAITECletterの配布などを行った。
- (3) 導入機器
- ・ガスマトグラフ質量分析計(アジレント社 GC-MASS Q-TOF)

## 5.4 RINGS NET（新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携）

新潟県、群馬県及び埼玉県工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立し、下記の事業を行った。

### 5.4.1 研究発表者相互派遣事業

#### (1) 発表者受け入れ

川口会場(本所):平成26年9月18日(木)

群馬県 1名

新潟県 1名

### 5.4.2 担当分野別交流会等の開催

#### (1) 上信越公設研ネット機関長・企画担当者会議

年月日	場所	参加者
H27.1.22	新潟県工業技術総合研究所	センター長 牟田口 照恭 企画・総務室 副室長 細野 光広

#### (2) 中堅・若手技術職員交流会

年月日	場所	参加者
H27.1.29 ～ H27.1.30	栃木県産業技術センター	技術支援室 専門研究員 井上 裕之 専門研究員 小熊 広之 専門研究員 能戸 崇行

#### (3) 導入機器利用普及促進セミナー

年月日	場所	参加者
H27.2.25	栃木県産業技術センター	企画・総務室 技師 岩崎 翼 技術支援室 主任研究員 出口 貴久 事業化支援室 専門員 棚橋 綱男

## 5.5 講演会等講師派遣

◆本所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H26.6.28	産技連 関東甲信越静 地域部会 製造技術分 科会 平成26年度第一 回3Dプリンタ研究会	(地独)東京都立産 業技術研究センタ ー	主催者:(独)産業技術総合研究 所 「SAITECのものづくり支援の展 開」	南部 洋平
H26.9.12	第10回ポリゴンエンジ アリング研究会	(独)理化学研究所	主催者:VCADシステム研究会 内容:ポリゴンメッシュの穴埋め の評価	南部 洋平
H26.10.8	第 546 回埼玉県鋳物技 術講演会	川口鋳物工業協同 組合	主催者:埼玉県・川口鋳物技術 センター 内容:「3Dデータ利用によるもの づくり ―3Dプリンタ、X線C T、3Dデジタイザの活用―」	宇野 彰一 南部 洋平
H26.11.26	産技連 ナノテク材料部 会 素形材分科会 全国 公設試験研究機関素形 材担当者会議	愛知県産業労働セ ンター	主催者:(独)産業技術総合研究 所 「埼玉県における人材育成につ いて」	永井 寛
H26.11.26	産技連 ナノテク材料部 会 素形材分科会 素形 材分科会総会	愛知県産業労働セ ンター	主催者:(独)産業技術総合研究 所 「第10回鋳造技術研究会につい て(報告)」	永井 寛
H26.12.4	3Dプリンターの利活用支 援に関する勉強会・視察 会	小田原箱根商工会 議所	主催者:日本商工会議所 内容:3Dプリンタ活用事例紹介	南部 洋平
H26.12.19	地中熱ヒートポンプシ ステム技術開発研究会	新都心ビジネス交 流プラザ	主催者:(公財)埼玉県産業振興 公社 内容:センター紹介	宮崎 智詞
H27.3.20	第12回ポリゴンエンジ アリング研究会	(独)理化学研究所	主催者:VCADシステム研究会 内容:ポリゴンメッシュのオフセッ ト・リメッシュ・適応的細分割の評 価	南部 洋平
H27.3.20	第12回ポリゴンエンジ アリング研究会	(独)理化学研究所	主催者:VCADシステム研究会 内容:改良版サイノグラムポリゴ ナイザーの評価	永井 寛 宇野 彰一

## ◆北部研究所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H26.4.16	彩の国酒造り学校	産業技術総合センター北部研究所	物理・化学・数学	鈴木 康修
H26.5.8	農業大学校「農産物加工研究」	埼玉県農業大学校	「農産加工品における発酵技術の活用」	増田 こずえ
H26.5.14	彩の国酒造り学校	産業技術総合センター北部研究所	物理・化学・数学	鈴木 康修
H26.5.14	彩の国酒造り学校	産業技術総合センター北部研究所	原料(水)	横堀 正敏
H26.5.29	農業大学校「農産物加工研究」	埼玉県農業大学校	「埼玉県産農産加工品事例」	増田 こずえ
H26.6.9	日本葉業振興会2014年6月例会	(公財)東京都中小企業振興公社	「小麦粉について」	小島 登貴子
H26.6.17	彩の国酒造り学校	産業技術総合センター北部研究所	きき酒実習	増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修
H26.6.18～20	彩の国酒造り学校	産業技術総合センター北部研究所	分析実習	増田 こずえ 横堀 正敏 鈴木 康修
H26.7.2	彩の国酒造り学校	産業技術総合センター北部研究所	原料(米)	増田 こずえ
H26.8.1	埼玉県高等学校農業研究会分野別研究協議会(食品科学系)	産業技術総合センター北部研究所	「埼玉県産酵母について」 施設内見学	横堀 正敏
H26.8.26	杉戸農業高等学校サイエンス・パートナーシップ・プログラム講座	東洋大学 板倉キャンパス	「埼玉県産酵母について」	横堀 正敏
H26.9.11	埼玉県酒販組合懇談会 経営活性化研修	上尾市文化センター	「埼玉の酒造りについて」	横堀 正敏
H26.10.8	埼玉 35 酒蔵大試飲会	大宮ソニック	酒造技術ブース出展	増田 こずえ 横堀 正敏
H26.10.8～9	埼玉県立熊谷女子高等学校 スーパーサイエンスハイスクール	産業技術総合センター北部研究所	「小麦粉の加工について」 「ATP発光法を用いた微生物数の迅速測定実験」 「天然水中のミネラル分の測定」 「酵素の性質を知る」 「TLCによる化合物の同定」 「色彩測定」	小島 登貴子 細井 永次 鈴木 理博 増田 こずえ 成澤 朋之 宮原 進 石井 誠
H26.11.27	平成25酒造年度酒造講話会	産業技術総合センター北部研究所	話題提供	横堀 正敏
H26.11.28	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡会 繊維測定技術研究会	産業技術総合センター北部研究所	技術相談・クレーム・機能性評価事例について「JIS L 1099 繊維製品の透湿度試験方法」を活用した他業種への技術支援」	飯塚 真也
H27.2.12	埼玉県吟友会県内銘醸蔵視察	晴雲酒造(株)	清酒製造技術	増田 こずえ

## 5.6 審査会等への派遣

### ◆本所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H26.4.1～	電子情報通信学会福祉情報工学研究会専門委員	(独)産業技術総合研究所	半田 隆志
H26.4.1～	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構技術委員	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	半田 隆志
H26.4.1～	芝浦工業大学大学院連携大学院客員准教授	-	半田 隆志
H26.6.13～	ライフサポート学会評議員	芝浦工業大学等	半田 隆志
H26.6.22	平成26年度技能検定(鋳鉄鋳物鋳造作業)実技試験	永井機械鋳造(株)	菊池 和尚
H26.7.2	平成26年度技能検定(鋳鉄鋳物鋳造作業)審査会	埼玉県産業技術総合センター	菊池 和尚
H26.8.14	平成26年度社会ニーズ(安心・安全)・国際幹事等輩出分野に係る国際標準化活動:福祉用具(車いす座位変換機能等)に関する標準化「車いす座位変換機能国際標準分科会委員」	日本福祉用具・生活支援用具協会	半田 隆志
H26.10.8	第50回記念埼玉県鋳造技術コンクール審査会	埼玉県産業技術総合センター	高橋 利男
H26.10.30	第3回鋳造技術コンクール(軽合金)審査会	川口鋳物工業協同組合	高橋 利男
H27.2.1	平成26年度技能検定(金属組織)実技試験	オリエンタルエンジニアリング(株)	篠崎 誠
H27.3.9	産業技術連携推進会議医療福祉技術分科会タスクフォース会議	経済産業省別館	半田 隆志

### ◆北部研究所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H26.6.6	熊谷捺染組合第49回捺染作品競技会	熊谷市立商工会館	戸枝 保 宮原 進 高橋 広子
H26.6.12	埼玉県酒造組合秩父支部初呑切会	秩父地域地場産業振興センター	増田 こずえ 横堀 正敏
H26.6.26	埼玉県酒造組合西部ブロック初呑切	小川町民会館	横堀 正敏
H26.7.23	埼玉県酒造組合行田・熊谷支部初呑切会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏
H26.8.2	平成26年度 高校生ものづくりコンテスト 化学分析部門 第6回 埼玉県大会	東洋大学理工学部 川越キャンパス	飯塚 真也
H26.8.7	藤崎惣兵衛商店初呑切及び市販酒の出荷管理研究会	(株)藤崎惣兵衛商店	横堀 正敏
H26.8.20	平成26年度 高校生ものづくりコンテスト 化学分析部門 関東大会	東洋大学理工学部 川越キャンパス	小島 登貴子 飯塚 真也
H26.10.7～8	第85回関東信越国税局酒類鑑評会 一審	関東信越国税局	横堀 正敏
H26.10.8	全国きき酒選手権埼玉県大会	大宮ソニックシティ	増田 こずえ
H26.10.15	第85回関東信越国税局酒類鑑評会 二審	関東信越国税局	増田 こずえ
H27.1.22	埼玉県ふるさと認証食品「みそ」官能審査	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏
H27.1.21～22	技能検定実技試験(パン製造)	(株)ベーカリーシステム研究所	小島 登貴子
H27.2.25～26	関東信越国税局市販酒類調査品質評価	関東信越国税局	横堀 正敏
H27.3.1	漬物製造管理士試験	武蔵野調理師専門学校	北村 英三
H27.3.6	埼玉県酒造組合北部ブロック西部ブロック 合同新酒持ち寄り研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏
H27.3.9	埼玉県酒造組合中部ブロック持ち寄り研究会	(株)文楽	増田 こずえ 横堀 正敏
H27.3.17	群馬県清酒品評会	群馬県立群馬産業技術センター	増田 こずえ
H27.3.19	茨城県吟醸酒出品研究会	茨城県工業技術センター	横堀 正敏

## 5.7 技術評価

新製品開発等の補助金、表彰等に応募した企業の提案課題について技術評価を実施した。

事業名	依頼元	内容
草加市研究開発型企業育成部門補助金	草加市産業振興課	草加市研究開発型企業育成部門補助金審査会
草加モノづくりブランド認定審査会	草加市産業振興課	審査会
八潮市優良技術者及び技能者の選定に係る評価会	八潮市商工観光課	評価会

## 5.8 会議等への参加

### ◆本所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H26.5.18～	ISO/TC173/SC1会議	Metz, France	Takashi Handa
H26.5.21	平成26年度第1回鑄造工学会・人材育成委員会	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
H26.5.23	第9回ポリゴンエンジニアリング研究会	(独)理化学研究所	永井 寛
H26.5.27	平成26年度鑄造カレッジ企画運営委員会及び合同委員会	機械振興会館	永井 寛
H26.6.10	鑄造工学会・関東支部理事会	早稲田大学	永井 寛
H26.6.13	VCAD システム研究会	(地独)東京都立産技研センター	永井 寛
H26.6.19～ 6.20	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第21回表面技術分科会	山口県産業技術センター	和田 健太郎
H26.6.26	産技連 関東甲信越静地域部会 製造技術分科会 3Dプリンタ研究会	東京都立産業技術研究センター	南部 洋平 佐藤 宏惟
H26.6.28	鑄造カレッジ・関東地区・開校式	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
H26.8.26	鑄造工学会・関東支部理事会	早稲田大学	永井 寛
H26.9.12	VCADシステム研究会 第10回ポリゴン研究会	(独)理化学研究所	南部 洋平
H26.10.17	産技連 ナノテク材料部会 素形材分科会 第10回鑄造技術研究会	KMMビル	永井 寛
H26.10.20～	ISO/TC173/SC1/WG1およびWG11会議	London, UK	Takashi Handa
H26.10.23～ 24	産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会 第52回高分子分科会	ベルクラシック甲府	小熊 広之 山田 岳大
H26.11.14	VCADシステム研究会 第11回ポリゴン研究会	(独)理化学研究所	永井 寛 南部 洋平
H26.11.20	産業技術連携推進会議 3Dものづくり特別分科会	第一会館 本館	南部 洋平
H26.11.20～ 21	産業技術連携推進会議 精密微細加工分科会	第一会館 本館	南部 洋平
H26.11.20 ～11.21	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 第19回 電磁環境分科会 第24回 EMC研究会	鹿児島東急イン	能戸 崇行
H26.11.26 ～11.27	産業技術連携推進会議 ナノテク・材料部会 素形材分科会 全国公設試験研究機関素形材 技術担当者会議および総会	愛知県産業労働センター他	永井 寛 菊池 和尚
H26.12.3 ～12.5	産技連 知的基盤部会総会、計測分科会 形状計測研究会・温度熱研究会	長良川国際会議場	宇野 彰一 長野 隼人 内藤 理恵
H26.12.4 ～12.5	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析分科会、総会、特別意見交換会	長良川国際会議場	菊池 和尚 大西 健太 細見 喜洋
H27.2.6	産業技術連携推進会議 3Dものづくり特別分科会	(独)産業技術総合研究所 つくばセンター	南部 洋平
H27.2.18	産技連関東甲信越静地域部会 計測技術研究会 X線 CT 交流会	機械振興会館	牟田口 照恭 宇野 彰一
H27.2.25	平成26年度鑄造カレッジ合同委員会	機械振興会館	永井 寛
H27.3.3	第1回医療機器開発支援ネットワーク・公設試験研究機関の連絡会議	フクラシア東京ステーション	香西 良彦
H27.3.5	表面技術協会第131回講演大会	関東学院大学 金沢八景キャンパス	出口 貴久
H27.3.13	次世代自動支援センター埼玉 年次確認会	新都心ビジネス交流プラザ	原田勝利
H27.3.17	2015年度精密工学会春季大会	東洋大学 白山キャンパス	南部 洋平
H27.3.20	VCADシステム研究会 第12回ポリゴン研究会	(独)理化学研究所	永井 寛 宇野 彰一 南部 洋平

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H27.3.20	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 電磁環境分科会 第12回 関東甲信越静EMC研究交流会	(地独)東京都立産業技術研究 センター 多摩テクノプラザ	能戸 崇行 香西 良彦
H27.3.26	平成26年度第3回鑄造工学会・人材育成委員 会	ものづくり大学	永井 寛

◆北部研究所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H26.4.9	医療機器プロジェクトワーキンググループ会議	東洋大学 理工学部 川越 キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.4.17	AACC international 日本支部 講演会	(社)日本パン技術研究所	成澤 朋之
H26.4.21	米菓研究会理事会	埼玉県産業技術総合センタ ー北部研究所	常見 崇史 成澤 朋之
H26.4.21	平成26年度第1回埼玉バイオ・ものづくりネット ワークコア研究室管理委員会 兼 平成26年 度第1回埼玉バイオ・ものづくりネットワークコア 研究室内遺伝子組換え実験安全委員会	埼玉県産業技術総合センタ ー	小島 登貴子
H26.4.23	フード・ビジネス研究会	(公財)埼玉県産業振興公社	増田 こずえ 富永 達矢
H26.5.13	医療検査機器プロジェクトワーキンググループ 会議	東洋大学	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.5.14	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) 機 器分析ユーザーズフォーラム 2014 -Food& Agriculture-	フクラシア東京ステーション	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.5.14	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材 料部会繊維分科会 関東・東北地域連絡会総 会	(地独)東京都立産業技術 研究センター墨田支所	宮原 進
H26.5.17	食品化学工学研究室第1回製パン研究会	工学院大学 八王子キャン パス	成澤 朋之
H26.5.19	埼玉県吟友会平成25年度通常総会	ホテルサンルート浅草	横堀 正敏
H26.5.20	シンポジウム「食におけるトレンドとイノベーション が交錯するフランスの見本市」	フランス大使館大使公邸	成澤 朋之
H26.5.21	医療検査機器開発プロジェクト第1回研究会	東洋大学 バイオ・ナノエレクト ロニクス研究センター	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.5.27	酒米研究会	東広島市市民文化センター	横堀 正敏
H26.5.27	第50回酒類総合研究所講演会	東広島市市民文化センター	横堀 正敏
H26.5.28	平成25酒造年度全国新酒鑑評会製造技術研 究会	東広島運動公園 体育館	横堀 正敏
H26.5.30	産学連携支援ネットワーク会議幹事会	新都心ビジネス交流プラザ	坂田 義雄 石井 誠
H26.6.5	TKFバイオパートナーグループ	千葉県産業支援技術研究所	横堀 正敏 樋口 誠一
H26.6.5～6.6	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材 料部会繊維分科会総会	岡山県工業技術センター	中島 規之
H26.6.9	理研シンポジウム	(独)理化学研究所 鈴木梅 太郎記念ホール	成澤 朋之
H26.6.10	埼玉県米菓研究会総会	新都心ビジネス交流プラザ	常見 崇史 成澤 朋之
H26.6.13	平成26年度埼玉仮想工業団地 通常総会	埼玉工業大学	坂田 義雄
H26.6.17	本庄早稲田オープンイノベーションネットワーク 発足会	浦和ロイヤルパインズホテル	中島 規之
H26.6.17	埼玉工業大学先端科学研究所協力会 総会	埼玉工業大学	坂田 義雄



年月日	会 議 名	会 場	出席者
H26.6.19	産学連携支援ネットワーク会議 総会	新都心ビジネス交流プラザ	坂田 義雄 石井 誠
H26.6.21	平成25酒造年度全国新酒鑑評会公開きき酒会	池袋サンシャインシティ	増田 こずえ 横堀 正敏
H26.6.23	「FIND Chichibu」総会	(一財)秩父地域地場産業 振興センター	増田 こずえ 坂田 義雄
H26.6.25	医療検査機器プロジェクトワーキンググループ 会議	東洋大学	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.6.27	理研シンポジウム 第9回有機合成化学のフロン ティア	(独)理化学研究所 鈴木梅 太郎記念ホール	成澤 朋之
H26.7.7	埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議 会平成26年度定期総会	新都心ビジネス交流プラザ	小島 登貴子
H26.7.9	医療検査機器開発プロジェクト第2回研究会	東洋大学 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.7.10	食品品質保持技術研究会講演会	主婦会館プラザエフ クラル テ	小島 登貴子
H26.7.10~11	関東甲信越地区食品醸造研究会	栃木県庁	常見 崇史 鈴木 康修
H26.7.24	高校生ものづくりコンテスト化学分析部門 第2 回運営委員会	東洋大学 理工学部 川越 キャンパス	小島 登貴子 飯塚 真也
H26.7.30	外食ビジネスウィーク2014	東京ビッグサイト	小島 登貴子
H26.8.8	医療検査機器プロジェクトワーキンググループ 会議	東洋大学	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.8.28	埼玉県ホームページリニューアル方針等説明 会及び新CMS操作研修	さいたま市民会館うらわ	小島 登貴子
H26.8.29	埼玉県「次世代産業カレッジ」埼玉工業大学講 座「植物の新品種育成に向けた研究と展望」	埼玉工業大学	小島 登貴子
H26.9.9	平成26年度第3回テーマ別6次産業化研究会	埼玉会館	小島 登貴子
H26.9.10	医療検査機器開発プロジェクト第3回研究会	東洋大学 川越キャンパス	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.9.11	米菓研究会理事会	埼玉県産業技術総合センタ ー北部研究所	常見 崇史 成澤 朋之
H26.9.30	熊谷市産学連携による新産業創出のための研 究会 第1回セミナー	熊谷市立商工会館 大ホー ル	小島 登貴子
H26.10.1	医療検査機器プロジェクトワーキンググループ 会議	東洋大学	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.10.4	日本農学会シンポジウム 「ここまで進んだ！飛躍する農学」	東京大学 弥生講堂	成澤 朋之
H26.10.7	公益社団法人食生活研究会 第22回「食と健 康」講演会	東京銀行協会ビルジグ	小島 登貴子
H26.10.9	平成26年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (複合乳酸菌発酵法を利用した大豆を原料とす る抗ストレス食品素材の開発) 第1回研究開発 推進委員会	新都心ビジネス交流プラザ 小セミナールーム	富永 達矢
H26.10.23	全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎第4号館	横堀 正敏
H26.10.25	食品・メニュー開発実習報告会	女子栄養大学	成澤 朋之
H26.11.5	関東信越国税局酒類鑑評会技術研究会	さいたま新都心合同庁舎 1 号館	増田 こずえ 横堀 正敏
H26.11.5	医療イノベーション埼玉ネットワーク キックオフ 交流会	新都心ビジネス交流プラザ 会議室	樋口 誠一
H26.11.6	全国食品関係試験研究場所長会 平成26年 度第1回役員会	つくば国際会議場	小島 登貴子

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H26.11.6	全国食品技術研究会	つくば国際会議場	小島 登貴子
H26.11.7	全国食品技術研究会	つくば国際会議場	富永 達矢
H26.11.10	平成 26 年度東京大学地域振興研究会 ジャパン・クオリティ ー地域からの発信ー	東京大学 伊藤国際学術研究センター	成澤 朋之
H26.11.11	医療検査機器プロジェクトワーキンググループ会議	東洋大学	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.11.12	(独法)農林水産消費安全技術センター 平成 26 年度公開調査研究発表会	さいたま新都心合同庁舎 検査棟 大会議室	小島 登貴子
H26.11.14	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 生産技術研究会	(地独)東京都立産業技術研究センター墨田支所	宮原 進
H26.11.21	埼玉県「次世代産業カレッジ」埼玉工業大学講座「植物の新品種育成に向けた研究と展望」	埼玉工業大学	小島 登貴子
H26.12.1	医療検査機器プロジェクトワーキンググループ会議	東洋大学	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.12.3	東京大学・日本電子産学連携室 第 36 回 MS ユーザーズミーティング(東京)	東京大学 工学部 武田先端知ビル 5 階 武田ホール	成澤 朋之
H26.12.3 ~ 12.5	平成 26 年度産業技術連携推進会議知的基盤部会総会及び計測分科会	長良川国際会議場	関根 俊彰
H26.12.4 ~12.5	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析分科会	長良川国際会議場	鈴木 理博
H26.12.10	医療検査機器開発プロジェクト第4回研究会	東洋大学	樋口 誠一 成澤 朋之
H26.12.11	AACC International 日本支部 平成26年度第2回講演会	(社)日本パン技術研究所	成澤 朋之
H26.12.12	第334回 ガスクロマトグラフィー研究会特別講演会	大田区産業プラザ コンベンションホール	成澤 朋之
H26.12.25	「農林水産業の活力創造のための革新的技術実証研究事業」(仮称)に係る技術提案会	農林水産省	小島 登貴子 成澤 朋之
H27.1.14	医療検査機器プロジェクトワーキンググループ会議	東洋大学	樋口 誠一 成澤 朋之
H27.1.15	農林水産技術会議 競争的資金制度等公募説明会	農林水産省 共済組合 南青山会館	成澤 朋之
H27.1.16	草加せんべい振興協議会、草加煎餅協同組合、草加地区手焼煎餅協同組合 新年祝賀会	草加市文化会館	小島 登貴子
H27.1.19	医療検査機器開発プロジェクト第5回研究会	東洋大学 川越キャンパス バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	樋口 誠一 成澤 朋之
H27.1.19	農林水産技術会議 競争的資金制度等公募説明会	さいたま新都心合同庁舎 2 号館	小島 登貴子
H27.1.23	米菓研究会理事会	新都心ビジネス交流プラザ	常見 崇史 成澤 朋之
H27.1.26	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会幹事会	(地独)東京都立産業技術研究センター墨田支所	中島 規之
H27.1.26	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会幹事会 繊維測定技術研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	中島 規之 宮原 進 石井 誠 飯塚 真也 村田 一英 清水 英明
H27.1.27	有害微生物迅速分析システム会議	科学警察研究所	細井 永次
H27.1.31	埼玉県立熊谷女子高等学校 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)研究発表会	熊谷会館	成澤 朋之

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H27.2.3～4	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部 会 食品・バイオ分科会 産総研 LS-BT 合同研 究発表会	(独)産業技術総合研究所 つくばセンター	成澤 朋之
H27.2.5～6	実用技術開発事業(24008)コンソーシアム 平 成 26 年度推進会議	埼玉県産業技術総合センタ ー北部研究所	常見 崇史 樋口 誠一
H27.2.19	医療検査機器プロジェクトワーキンググルー プ会議	東洋大学 川越キャンパス バイオ・ナノエレクトロニクス 研究センター	樋口 誠一 成澤 朋之
H27.2.26	全国食品関係試験研究場所長会 平成 26 年 度第 2 回役員会、平成 27 年度総会	つくば国際会議場	中島 規之
H27.2.26	平成 26 年度食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	中島 規之
H27.2.27	TKFフォーラム	千葉工業大学	小島 登貴子 樋口 誠一
H27.3.4	医療検査機器開発プロジェクト第 6 回研究会	東洋大学 川越キャンパス バイオ・ナノエレクトロニクス 研究センター	樋口 誠一 成澤 朋之
H27.3.6	埼玉県米菓研究会新春情報交換会	新都心ビジネス交流プラザ	常見 崇史 成澤 朋之
H27.3.13	(独法)農林水産消費安全技術センター 平成 26 年度食品関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎 検査棟 大会議室	小島 登貴子

## 6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

### 6.1 研究報告

研究報告 第12巻(平成25年度) 平成26年10月発行

### 6.2 利用促進

#### 6.2.1 業務報告

平成25年度 業務報告 平成26年8月発行

#### 6.2.2 インターネットによる技術情報の提供

##### (1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・ 平成15年度～平成25年度研究報告
- ・ 依頼試験案内、開放機器の案内、開放機器研修日程
- ・ 技術アドバイザー制度の案内、技術アドバイザーデータベース
- ・ 貸会議室、貸研究室
- ・ 研修会、講演会等の開催案内
- ・ 企業データベース
- ・ 他機関との連携による各種支援情報
- ・ セミナー、講習会情報
- ・ 新規導入機器の紹介

##### (2) メールマガジン等

県内中小企業の新技術・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行件数 20件

また、電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には1,212件の問い合わせがあった。

#### 6.2.3 記者発表

年月日	タイトル
H26.8.18	平成26年度「SAITEC 研究発表会」を開催します
H26.9.26	産業技術総合センター北部研究所の研究発表会を開催 ー食品産業トータルサポート支援事業も紹介ー
H26.10.30	第11回埼玉北部地域技術交流会を開催します ー先端産業は埼玉から！ー

#### 6.2.4 マスメディア報道

##### (1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
H26.4.9	埼玉新聞	食材のうまみ最適加工
H26.4.15	読売新聞	県食品ブランド化研究会
H26.5.30	日刊工業新聞	埼玉県特集
H26.6.6	日刊工業新聞	大木工業の製品開発(SAITECによる技術支援について)
H26.6.6	日本経済新聞	特許ライセンスを活用した新製品開発プロジェクト
H26.8.1	フォームタイムス	微細発泡射出成形における無発泡層/発泡層境界領域の大きな扁平化気泡形成過程の可視化解析
H26.8.1	日刊工業新聞	高断熱ガラスフィルム普及 中小・大学で組織
H26.8.26	日本経済新聞	リチウム硫黄蓄電池
H26.8.29	埼玉新聞	経済コラム 知的財産活用
H26.10.29	FujiSankeiBusinessi.	開放特許「さいたまモデル」について
H26.11.12	日本経済新聞	ソフトスチーム米及びミニ炊飯器
H26.11.18	日本経済新聞	機器一括検索システムについて
H26.11.27	日刊工業新聞	開放特許の活用について
H26.12.19	日本経済新聞	ガスクロマトグラフ質量分析計

年月日	新聞名	内 容
H27.1.4	埼玉新聞	埼玉県内の米と清酒について
H27.1.8	日本経済新聞	ロボットニーズ研究会について
H27.2.10	日本経済新聞	3D プリンタ造形物に透明感 研磨・塗装技術を開発
H27.2.16	商経アドバイス	ソフトスチームミニ炊飯器
H27.3.18	日刊工業新聞	川口商工会議所発プロジェクト 和竿について
H27.3.20	埼玉新聞	春季清酒鑑評会

(2) テレビ・ラジオ報道

年月日	テレビ・ラジオ名	番組名	内容
H26.9.12	テレビ埼玉	ウィークエンド930	サティス製菓を取り上げた番組の中で、埼玉酵母について紹介した。
H26.9.18	J:COM 川口戸田	デイリーニュース	研究発表会 3Dものづくり支援事業の紹介
H27.2.5	JCOM 川口・戸田	デイリーニュース	埼玉県鋳物技術講演会の紹介 (講演会の様子、講師へのインタビューを放映)

(3) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
H26.4.1	地域サポート部 ニュース No.6(武銀)	SAITEC 機器紹介シリーズ 6 分析機能付き走査型電子顕微鏡
H26.4.1	埼玉県創造的異業種交流会 はあもにい 44 号	3Dプリンタ等による製品開発支援の紹介
H26.6.2	川口市産業振興公社 「公社だより No.152」	三次元測定機の紹介
H26.9.5	川口市産業振興公社 「公社だより No.153」	走査型電子顕微鏡の紹介

## 7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室を設置している。

### 7.1 入居企業

(1) 貸研究室(平成26年度実績)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	エスコウインズ(株)	川口市	産業機器	
2	(株)エプセム	川口市	産業機器	
3	武蔵医研(株)	川口市	医療機器	H26.4.15 入居
4	(有)ジャパン・ラム	広島県福山市	バイオ産業	2室利用、H26.11.28 退去
5	メルスモン製薬(株)	東京都豊島区	医薬品	H26.12.8 入居
6	ジェナシス(株)	川口市	バイオ産業	
7	(株)セネコム	川口市	産業機器	2室利用
8	(株)ジャパンビッグ商会	川口市	機能付き日用雑貨	
9	アルスロデザイン(株)	川口市	医療機器	H26.10.31 退去
10	ナノサミット(株)	東京都品川区	工業製品	H26.12.15 入居
11	石川金属機工(株)	川口市	理化学機器	
12	エムテック化学(株)	川口市	工業製品	
13	ビタミン C60 バイオリサーチ(株)	東京都中央区	化粧品原料	
14	(株)ポリテック・デザイン	さいたま市	工業製品	
15	(有)T4	東京都荒川区	工業製品	H26.11.4 退去
16	Shimada Appli(同)	さいたま市	産業機器	
17	フルイドウェアテクノロジー(株)	川口市	流体チップ製品	3室利用

※ この他1室を(公財)埼玉県産業振興公社が埼玉バイオプロジェクト・コア研究室として使用している。

### 7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	7 企業	156 件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	13 企業	169 件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	2 企業	4 件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	6 企業	138 件
5	試作加工室の提供	6 企業	130 件
6	各種情報提供(セミナー、助成金、展示会など)	提供件数:58 件	

## 8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

### 8.1 研修生の受け入れ

#### 8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

##### ◆本所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H26.9.4～H27.2.19	埼玉大学	1	8	材料技術担当 和田 健太郎
H26.10.8～H27.2.19	埼玉大学	1	9	材料技術担当 和田 健太郎
本 所 計		2	17	

##### ◆北部研究所

期 間	機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H26.4.15～H27.3.31	個人	1	20	食品・バイオ技術担当
H26.10.15～H27.3.31			10	横堀 正敏
H26.4.9～H26.12.26	製造業	1	47	食品・バイオ技術担当 小島 登貴子
H26.6.10～H26.6.27	製造業	1	10	事業化支援担当 北村 英三
H26.6.23～H26.8.1	製造業	1	13	食品・バイオ技術担当 樋口 誠一
H26.8.1～H26.12.31	製造業	1	4	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
H.26.8.7～H26.9. 30	社会福祉法人	1	5	製品開発支援担当 高橋 広子
H26.8.11～H26.8.29	女子栄養大学	1	5	食品・バイオ技術担当 小島 登貴子、成澤 朋之
H26.8.18～H26.12.31	製造業	1	3	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
H26.8.19～H26.8.23	東京家政大学	4	5	製品開発支援担当 高橋 広子 他
H26.8.25～H26.8.29	大妻女子大学	4	5	製品開発支援担当 高橋 広子 他
H26.10.14～H27.3.31	製造業	1	17	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
H27.1.13～H27.3.31	製造業	1	7	食品・バイオ技術担当 富永 達矢
北部研究所 計		18	151	

##### ◆合計

本 所	受け入れ実績	
	人数	日数
本 所	2 名	17 日
北部研究所	18 名	151 日
合 計	20 名	168 日

### 8.1.2 インターンシップ事業

埼玉県では、学生の職業意識の醸成と県政への理解を深めることを目的として、県庁・地域機関でのインターンシップを実施している。この制度で受け入れた研修生は以下のとおりである。

#### ◆本所

期 間	機関名	人数	研 修 内 容	担当者
H26.8.25～H26.9.5	東洋大学	1	金属材料・評価技術 ラピッドプロトタイプ技術	材料技術担当 機械技術担当

### 8.1.3 平成 26 年度 鑄造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ

テーマ	技術と経営力を持つ次世代鑄造人材の育成を目的に実施された鑄造カレッジにおける関東地区のインターンシップ事業を企画し、下記概要のとおり実施した。
概 要	1. ねずみ鑄鉄の熱分析と接種及びその評価 2. 球状黒鉛鑄鉄の球状化処理とフェーディング及びその評価 3. 工場見学と討議
場 所	(1,2)埼玉県産業技術総合センター (3)日野自動車(株)新田工場 (株)木村鑄造所 群馬工場及び群馬FM工場 ホテルふせじま
期 間	(1,2)平成 27 年 1 月 26 日～1 月 30 日 (3)平成 27 年 2 月 13、14 日
参加人数	(1,2)20 名 (3)27 名



## 8.2 技術競技会

### 8.2.1 第 50 回記念埼玉県鑄造技術コンクール

鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共同して開催しており、今年で節目の 50 回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鑄鉄部門延べ 16 社、球状黒鉛鑄鉄部門延べ 17 社の参加で行われ、入賞者は次のとおりであった。

#### 受賞工場一覧

##### ねずみ鑄鉄部門

賞 名	事業所名
埼玉県知事賞	吉村工業株式会社
埼玉県産業労働部長賞	富和鑄造株式会社
川口鑄物工業協同組合理事長賞	株式会社椿本鑄工
川口市長賞	合名会社富岡鑄工場
一般社団法人日本鑄造協会会長賞	前澤工業株式会社
一般財団法人素材材センター会長賞	株式会社大六鑄造
川口機械工業協同組合理事長賞	株式会社マスセイ
川口木型工業協同組合理事長賞	株式会社辻井製作所
川口鑄物技術センター委員長賞	不二工業株式会社
新日鐵住金株式会社社長賞	新井産業株式会社

##### 球状黒鉛鑄鉄部門

賞 名	事業所名
埼玉県知事賞	株式会社大六鑄造
埼玉県産業労働部長賞	株式会社辻井製作所
川口鑄物工業協同組合理事長賞	株式会社永瀬留十郎工場
川口市長賞	株式会社永瀬留十郎工場 櫛引工場
川口商工会議所会頭賞	合名会社富岡鑄工場
一般財団法人川口工業会館理事長賞	株式会社永瀬留十郎工場
川口鑄物技術センター委員長賞	前澤工業株式会社
埼玉鑄物技能士会会長賞	新井産業株式会社
株式会社神戸製鋼所社長賞	富和鑄造株式会社
神鋼商事株式会社社長賞	児玉鑄物株式会社

#### 特別賞(関東経済産業局長賞)

ねずみ鑄鉄部門	球状黒鉛鑄鉄部門
富和鑄造株式会社	株式会社永瀬留十郎工場

※特別賞はコンクールが節目の 50 回であることを記念して表彰するものであり、特別賞選考規程に基づき、過去 5 年間の総合成績が最も優秀な企業を表彰するものです。

### 8.2.2 平成 26 年度(第 57 回)埼玉県めっき技術競技会

埼玉県、埼玉県鍍金工業組合との共催により、埼玉県中小企業団体中央会、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)、産業通信社の協賛を得て、装飾用クロムめっきの部、亜鉛めっきの部、工業用クロムめっきの部、バレル亜鉛めっきの部、無電解ニッケルめっきの部の 5 つの部門で行われた。

今年度の参加状況は装飾用クロムめっきの部 7 社、亜鉛めっきの部 12 社、工業用クロムめっきの部 6 社、バレル亜鉛めっきの部 7 社、無電解めっきの部 7 社の合計 39 社の参加があった。入賞者は以下のとおりであった。

#### 審査結果

部門 表彰区分	装飾用クロム めっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロム めっきの部	バレル亜鉛 めっきの部	無電解ニッケル めっきの部
埼玉県知事賞	(株)甲斐野テックス 久津間 勝昭 氏	仁科工業(株) 鈴木 真実 氏	吉野電化工業(株)	(株)大倉	高松電鍍工業(株)
埼玉県産業労働 部長賞	(有)小林鍍金工業	吉野電化工業(株)	新硬クローム工業(株)	(株)大宮鍍金工業 飯島 尚 氏	吉野電化工業(株)
埼玉県産業技術 総合センター長賞	(株)真工社	(株)トーツー創研 大森 留次 氏	(株)精硬クローム 工業 小川 健二 氏	押尾化学工業(有)	(株)パーツ精工 染谷 幸作 氏 小柳 治人 氏
埼玉県中小企業団体 中央会長賞	小松原鍍金工場 小松原 秀元 氏	(有)阪本鍍金	川口ハードクロム 工業(有)	新田興業(株) 井上 和浩 氏	仁科工業(株) 内田 英希 氏
埼玉県鍍金工業 組合理事長賞	(有)渡辺鍍金工業所 渡邊 順一 氏	(有)池澤鍍金工業所 池田 秀和 氏	(株)オーク埼玉工場 杉 祐太 氏	カツデン(株)	(株)明光社
フジサンケイ ビジネスアイ賞	(有)今井メッキ工業所	押尾化学工業(有)	(株)ミドリ技研 山崎 宏昭 氏	(株)小林鍍金工業	(株)精硬クローム工業 小川 健二 氏
産業通信社賞	(有)坂寄鍍研精工 鈴木 望 氏	(株)大倉		(有)小築鍍金工業所 森 正伸 氏	(株)真工社

### 8.2.3 平成 26 酒造年度春季清酒鑑評会

平成 27 年 3 月 12 日に北部研究所で実施した。出品点数 92 点(20 場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。きき酒審査結果、成分分析結果の優良であった 11 製造場の杜氏を入賞とし、そのうち特に優秀であった 5 製造場の杜氏に北部研究所長より技術優秀賞を授与した。

#### 平成 26 酒造年度春季清酒鑑評会技術優秀賞(組合員名簿順)

酒造場名	酒銘	杜氏名
(株)文楽	文 楽	村上 大介 氏
小江戸鏡山酒造(株)	鏡 山	柿沼 和洋 氏
横田酒造(株)	日 本 橋	綱島 睦彦 氏
(株)釜屋	力 士	松沼 宏顕 氏
寒梅酒造(株)	寒 梅	鈴木 隆広 氏

### 8.3 ものづくり開発支援研修

県内中小企業等の研究者及び技術者に対し、ものづくり開発に関する必要な事項について、その技術力の向上を図り、もって県内中小企業の発展に寄与することを目的に、3Dデータを活用したものづくり、電気・電子、品質工学のほか、その他のカテゴリの研修を開催した。

#### (1) 3Dデータを活用したものづくり(3Dプリンタ・CAE等)

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H26.5.28	3Dプリンタ実演取扱い・セミナー	3Dプリンタものづくり普及促進会	74
H26.7.15	3Dデジタル活用セミナー	株式会社 モアソンジャパン	10
H26.8.5	FrontISTR研究会 <実践編(ハンズオン)>	FrontISTR研究会 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科 人間環境学専攻 教授 奥田 洋司氏)	4
H27.1.23	3Dデータ有効活用の最新事情【3Dプリンタを活用したものづくり最新事情】	株式会社大塚商会	10
H27.1.23	3Dデータ有効活用の最新事情【3DCADを活用したバリエーション設計の効率化】	株式会社大塚商会	8
合計(延べ数)	5 研修		106

#### (2) 電気・電子

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H26.8.29	モデルベース設計による制御系開発実習(制御塾) 第1回	制御および物理モデル普及推進研究会	4
H26.9.12	モデルベース設計による制御系開発実習(制御塾) 第2回	制御および物理モデル普及推進研究会	4
H26.9.30	センサーシステム設計と画像処理	マスワークス合同会社	6
H26.11.11	QC7つ道具実践講座 基礎編	一般社団法人埼玉県中小企業診断士協会(理事 土屋 寛 氏)	19
H27.1.22	高速デジタル回路の電源設計ノウハウ	株式会社アルティマ(佐々木 正博氏)、リンクサーキット株式会社(猪瀬 譲氏)	24
H27.2.4	中小企業の情報セキュリティ対策講座	特定非営利活動法人 埼玉ITコーディネータ(理事長 戸村 修 氏)	4
合計(延べ数)	6 研修		61

## (3) その他のコース

年 月 日	研修科目名	講 師 名	修了者数
H26.12.4	CEマーキング講座	エヌティーエム技術士事務所 中谷 二三男 氏	12
H27.1.26	デザイン表現イラストレータ研修 Illustratorの実技講座【基本操作編】	公益財団法人 埼玉県デザイン協議会 (女子美術短期大学 教授 佐藤 真澄氏)	7
H27.1.27	デザイン表現イラストレータ研修 Illustratorの実技講座【応用編】	公益財団法人 埼玉県デザイン協議会 (女子美術短期大学 教授 佐藤 真澄氏)	10
合計(延べ数)	3 研修		29

## (4) 合計

研修カテゴリ	研修数	修了者数
3Dデータを活用したものづくり(3Dプリンタ・CAE等)	5	106
電気・電子	6	61
その他	3	29
合計(延べ数)	14	196

## 8.4 科学技術体験学習の実施

### 8.4.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

#### ◆本所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された浦和第一女子高等学校と連携し、センター職員が講義する 8 つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 26 年 12 月 10 日(水)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人 数 41 名(浦和第一女子高等学校 1 年生)
- (4) 学習内容
  - ① 鋳物づくり体験学習
  - ② X線による非破壊検査体験学習[X線撮影・現像・評価等]
  - ③ 酸化反応の進行をイオンクロマトグラフ分析をとおして体感してみよう!
  - ④ 天然水中のミネラル分の測定
  - ⑤ 3Dプリンターのための立体データ作成方法
  - ⑥ 金属の電解研磨
  - ⑦ ナノメータの動きを体験
  - ⑧ 自作アンテナによる地デジの受信と電波の観察

#### ◆北部研究所

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された熊谷女子高等学校と連携し、センター職員が講義する 6 つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成 26 年 10 月 8 日(水)～9 日(木)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター 北部研究所
- (3) 人 数 28 名(熊谷女子高等学校 1 年生)
- (4) 学習内容
  - ① 小麦粉の加工について
  - ② ATP 発光法を用いた微生物数の迅速測定実験
  - ③ 天然水中のミネラル分の測定
  - ④ 酵素の性質を知る
  - ⑤ TLC による化合物の同定
  - ⑥ 色彩測定

## 9 その他の事業

### 9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

#### ◆本所

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
アジレント・メジャメントフォーラム	H26.6.18 ～6.19	パシフィコ横浜	能戸 崇行 田中 智大
X線スクール	H26.7.24	(株)日立ハイテクサイエンス サイエンスソリューションラボ東京	和田 健太朗
ISO17025 内部監査員養成セミナー	H26.7.28 ～7.29	JFE テクノリサーチ(株)	原田 勝利
第84回東北大学金属材料研究所 夏期講習会	H26.7.28～7.30	仙台国際センター、東北大学金 属材料研究所	菊池 和尚
実測で学ぶ高周波回路	H26.10.15 ～10.16	高度ポリテクセンター	能戸 崇行 田中 智大
高速回路設計者のための分布定数回路 とシグナルインテグリティ	H26.10.20 ～10.21	高度職業能力開発促進センター	杉山 和樹
電子回路から発生するノイズ対策	H26.11.12 ～11.14	高度ポリテクセンター	安藤 昌弘 能戸 崇行 鈴木 啓介

#### ◆北部研究所

研修機関・講座名	期間	場 所	研修者
群馬県立群馬産業技術センター研究成 果発表会	H26.4.18	群馬県立群馬産業技術センター	鳥羽 遼子
埼玉県電子入札共同システム新規担当 者向け操作説明会	H26.4.24	埼玉県県民健康センター	飯塚 真也
サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)・機器分析ユーザーズフォーラム 2014 -Food&Agriculture-	H26.5.14	フクラシア東京ステーション	樋口 誠一 成澤 朋之
アルファ・モス・ジャパン(株)・ガスクロの基 礎～におい分析への応用	H26.6.13	ベルサール芝公園	鈴木 康修
アジレント・テクノロジー(株)・Agilent GC/MS メタボロミクスセミナー	H26.6.20	ソラシティカンファレンスセンター	樋口 誠一
日本官能評価学会・2014 年度 第 1 回 官能評価ワークショップ	H26.6.21	東京農業大学 世田谷キャンパ ス応用生物科学部栄養科学科 調理実習室 13号館1F	小島 登貴子
階層別基本研修(県) 中級研修【法律 課程】「地方自治法」	H26.7.1	彩の国さいたま人づくり広域連 合 自治人材開発センター	鈴木 康修
第 29 回 材料解析テクノフォーラム(東 京)	H26.7.4	THE GRAND HALL(品川グランド セントラルタワー 3階)	常見 崇史
(一社)バリア研究・第9回基礎講座	H26.7.16～17	明治大学 駿河台キャンパス	飯塚 真也
階層別選択研修	H26.7.16, 23	彩の国さいたま人づくり広域連 合 自治人材開発センター	富永 達矢
階層別選択研修(共同) 中級【業務改善 分野】「経営管理・組織管理」	H26.7.16, 23	彩の国さいたま人づくり広域連 合 自治人材開発センター	鈴木 康修
(株)島津製作所・島津フードセーフティフ ォーラム 2014	H26.7.18	ベルサール神田	樋口 誠一

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
階層別選択研修(共同) 中級「ワンペーパーでプレゼンテーション」	H26.7.28～29	彩の国さいたま人づくり広域連合 自治人材開発センター	成澤 朋之
埼玉工業大学・埼玉県「次世代産業カレッジ」埼玉工業大学講座「植物の新品種育成に向けた研究と展望」	H26.8.29	埼玉工業大学	小島 登貴子
モデルベース設計による制御系開発実習(制御塾)	H26.8.29	埼玉県産業技術総合センター	関根 俊彰 鳥羽 遼子
(公社)日本顕微鏡学会・第 30 回分析電顕討論会	H26.9.2～3	幕張メッセ国際会議場 国際会議室	常見 崇史
新 CMS 操作研修	H26.9.9	浦和合同庁舎	飯塚 真也
精密切削加工技術の基礎とそのノウハウ	H26.9.19	連合会館(千代田区神田駿河台)	鳥羽 遼子
新産業創出研究会セミナー	H26.9.30	熊谷商工会館	小島 登貴子
(一財)東京顕微鏡院・食品微生物検査技術研修会	H26.10.1～3	(一財)東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 豊海研究所	細井 永次
アジレント社・アジレントメタボロミクスデイズ2014	H26.10.2	アジレント・テクノロジー(株) 本社	樋口 誠一
日本農学会シンポジウム・「ここまで進んだ! 飛躍する農学」	H26.10.4	東京大学 弥生講堂	成澤 朋之
階層別選択研修(共同) 「中堅職員のチームマネジメント」	H26.10.6～7	彩の国さいたま人づくり広域連合 自治人材開発センター	常見 崇史
(株)日立ハイテクサイエンス・顕微鏡ソリューションセミナー	H26.10.24	(株)日立ハイテクサイエンス サイエンスソリューションラボ東京	常見 崇史
ANSYS フォーラム	H26.10.29	TKP ガーデンシティ	鳥羽 遼子
サーモフィッシャーサイエンティフィック・秋の食品セミナー - 出自から機能性、メタボロミクスまで -	H26.11.12	目黒雅叙園	樋口 誠一
スガ試験機・スガの色 2014 SUGA COLOUR APPEARANCE	H26.11.27	全労災ホール	飯塚 真也
LECOジャパン合同会社・食品分析ワークフロー デモセミナー	H26.11.28	LECOジャパン合同会社 本社 ショールーム	成澤 朋之
東京大学・日本電子産学連携室・第 36 回 MS ユーザーズミーティング(東京)	H26.12.3	東京大学 工学部 武田先端知ビル 5 階 武田ホール	成澤 朋之
高度ポリテクセンターCAE セミナー	H27.1.7 ~ 1.8	(独)雇用・能力開発機構 高度職業能力開発促進センター	鳥羽 遼子
(株)島津製作所・ケモトリックス入門講習会 分析化学のための多変量解析	H27.1.16	(株)島津製作所 東京支社 イベントホール	樋口 誠一
分析技能向上支援プログラム	H27. 2. 9	すみだ産業会館	鈴木 理博
ANSYS 伝熱解析セミナー	H27. 2. 12	富士ソフト秋葉原ビル	鳥羽 遼子
和光純薬工業(株)・エンドドキシリン試験法セミナー2015	H27.2.13	コクヨホール	細井 永次
ATP・迅速検査研究会講演会	H27.2.19	月島社会教育会館	富永 達矢
(一社)バリア研究会・第7回講演会	H27.3.4	明治大学 駿河台キャンパス	飯塚 真也
TH 企画セミナー	H27.3.4	連合会館	鳥羽 遼子
改正フロン法説明会	H27. 3. 6	さいたま市民会館うらわ	鈴木 理博
(株)テクノシステム・洗浄・殺菌のための次亜塩素酸入門講座	H27.3.18	中央大学駿河台記念館	細井 永次

## ◆職場研修

名 称	期 日	会 場	参加人数
科研費の説明に関する職員研修会 講師: 日本学術振興会研究助成第一課 課長代理 久保 智裕 氏 (地独) 東京都立産業技術研究センター 開発企画室 植松 卓彦 氏	H27.2.18	埼玉県産業技術総合センター 4AB会議室	28
試験所認定関連研修会 講師: 神奈川県産業技術センター 化学技術部 坂尾昇治 氏	H27.3.12	埼玉県産業技術総合センター 4AB会議室	24



## 9.2 顧客満足度（CS）アンケート

平成 16 年 1 月から利用者の声を生かした事業の充実を図るため、北部研究所を含め顧客満足度(CS)調査を実施している。

アンケート対象は、依頼試験、技術相談、開放機器利用等で来所した利用者である。

アンケート期間は平成 26 年 6 月から平成 26 年 8 月である。回収分の集計結果の概要は次のとおりである。

(1) 回答数 延べ 186 件

(2) 電話、受付及び窓口の対応

満足	概ね満足	やや不満	不満
72%(134 件)	28%(51 件)	0%(0 件)	0%(0 件)

(3) 職員の技術面における対応

満足	概ね満足	やや不満	不満
74%(139 件)	26%(48 件)	0%(0 件)	0%(0 件)

(4) 来所の目的に対する結果

満足	概ね満足	やや不満	不満
67%(125 件)	30%(56 件)	3%(6 件)	0%(0 件)

(5) 保有設備の数量や種類

満足	概ね満足	やや不満	不満
48%(87 件)	46%(84 件)	6%(11 件)	0%(0 件)

## 9.3 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を 2 回開催し、業務内容等を検討した。

### 9.3.1 開催状況

(1) 第 1 回運営委員会

- ① 日 時:平成 26 年 10 月 2 日(木)
- ② 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン
- ③ 議 題「SAITEC の本年度の活動経過報告について」
- ④ 参加人数  
運営委員 7 人 埼玉県 11 人 計 18 人

(2) 第 2 回運営委員会

- ① 日 時:平成 27 年 3 月 2 日(月)
- ② 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン
- ③ 議 題「SAITEC の本年度の活動経過報告について」
- ④ 参加人数  
運営委員 7 人 埼玉県 10 人 計 17 人

### 9.3.2 運営委員

(50 音順)

東京電機大学	特別顧問・客員教授	阿高 松男 氏
伊藤鉄工(株)	代表取締役	伊藤 光雄 氏(副委員長)
(株)和幸製作所	代表取締役	小川 逸郎 氏
(独)産業技術総合研究所	産学地域連携室長	新聞 陽一 氏
ものづくり大学	教授	鈴木 克美 氏
上板塑性(株)	代表取締役	武山 睦子 氏
(株)松本醤油商店	代表取締役	松本 公夫 氏
埼玉大学	教授	睦好 宏史 氏(委員長)